MAP-988　ZP07　2024年5月3日発行

LIXIL リシェント

勝手口ドア高断熱仕様・断熱仕様 取付け説明書

●取付けされる方に必ずお渡しください。掲載番号順に施工してください。

■守っていただきたいこと

⚠注　意 …取付けを誤った場合、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険または物的損害の発生が想定されます。

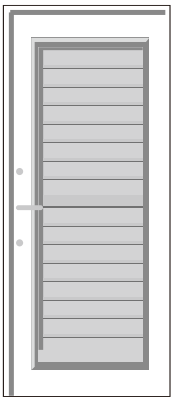
⚠注　意

●漏水の原因になりますので、下記事項をお守りください。
・本製品は、木造、フロア・土間納まり専用です。外壁工事を伴わない取付けの場合は、指定の箇所にシーリング材を充てんしてください。
・枠の組立ての際は縦枠両側に張付けてあるコーキングシーラーが、上・下枠の周りにはみ出すように合わせてからねじ止めしてください。
・枠の組立ての際、ねじは2.5 ± 0.5N·m {25 ± 5kgf·cm}のトルクで止めた後、ゆるみ・ガタツキのないことを確認してください。

●製品強度の不足でドア本体・枠の脱落のおそれがありますので、下記事項をお守りください。
・躯体に取付ける際は、ねじかかり寸法は必ず20mm以上にしてください。
・躯体に取付ける際の枠取付けねじのねじ込みトルクは、ねじかかり寸法20mmの時1.2N·m（12kgf·cm）以上にしてください。

●思わぬケガをするおそれがありますので、下記事項をお守りください。
・建付け調整のとき、ピボットヒンジ取付けねじを全部外さないでください。
・本体吊込みの際は相応の人数で行ってください。（組立て後の本体重量は最大55Kg になります。）

●完成図



※下記内容は重要事項ですので必ず点検してください。

No.	チェック内容	
1	躯体へのねじかかり寸法は20mm以上確保されているか	□
2	指定の箇所にシーリングがされているか	□
3	ドア本体の建付け調整はされているか	□

■目次

■取付け工程モデル・・・

取付け工程モデル

取付け工程	概　　要
お施主さまとの打合わせ	●現場を確認し、既設勝手口への取付け可否を調査します。 ●使用する製品のタイプを決定・見積りし、工事希望日を確認します。 ●製品を発注し、納入日を確認後工事日を決定します。
▼	
製品の組立て	●工事日までに製品を組立てます。
▼	
既設ドアの取外し	●製品基本寸法が現場に合うことを確認します。 ●工具を準備し、外枠だけ残して順に取外します。
▼	
新設枠・ドアの取付け	●開口部の水平・垂直を正しく出し、新設枠とドアを取付けます。 ●建付け調整をします。
▼	
枠外周部のシーリング処理	●雨仕舞いの処理のため、シーリングをします。 ※シーリング箇所は納まり図を参照してください。
▼	
額縁の取付け	●内額縁・外額縁を取付けます。 ●納まりに合わせて切断加工が必要です。
▼	
額縁外周部のシーリング処理	●雨仕舞いの処理のため、シーリングをします。 ※シーリング箇所は納まり図を参照してください。
▼	
部品の取付け	●ドアクローザなどを取付けます。
▼	
お引渡し	●お施主さまに製品を引渡します。

作業前の確認

■組立て・取付けされる方へのお願い

⚠注　意

●製品強度の不足でドア本体・枠の脱落のおそれがありますので、下記事項をお守りください。
・躯体に取付ける際は、ねじかかり寸法は必ず20mm以上にしてください。
・躯体に取付ける際の枠取付けねじのねじ込みトルクは、ねじかかり寸法20mmの時1.2N·（12kgf·m）以上にしてください。

取付け上のお願い

●必ず指定の取付けねじで固定してください。
●現場取付けに入る前に製品基本寸法が現場と合っていることを確認してください。

■ねじかかり寸法の確認

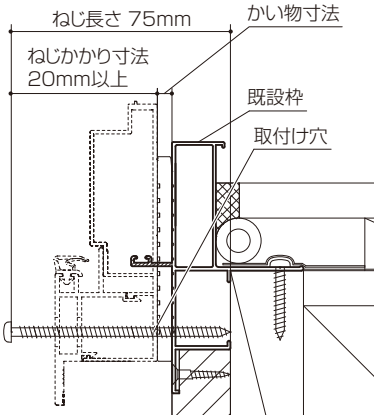
躯体にねじ止めする前に、既設枠の取付け穴にねじを入れ、取付け穴からねじ頭までの長さが20mm以上であることを確認してください。

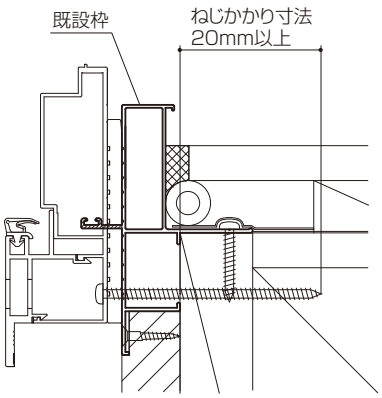
※ねじ長さ75mm

■取付ける柱のねじ込みトルクの確認

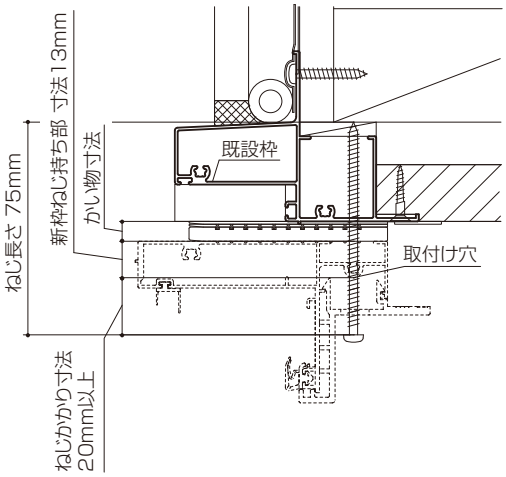
製品を取付ける前に取付ける柱に腐りがなく、枠の取付けねじのねじ込みトルクが1.2N・m（12kgf・cm）以上であることを確認してください。

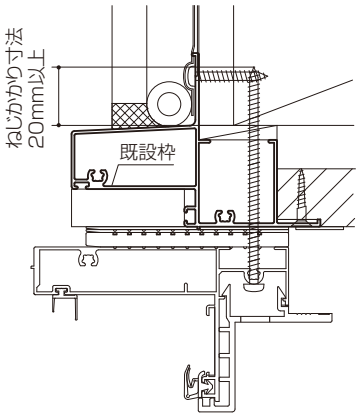
●縦枠の場合





●上枠の場合

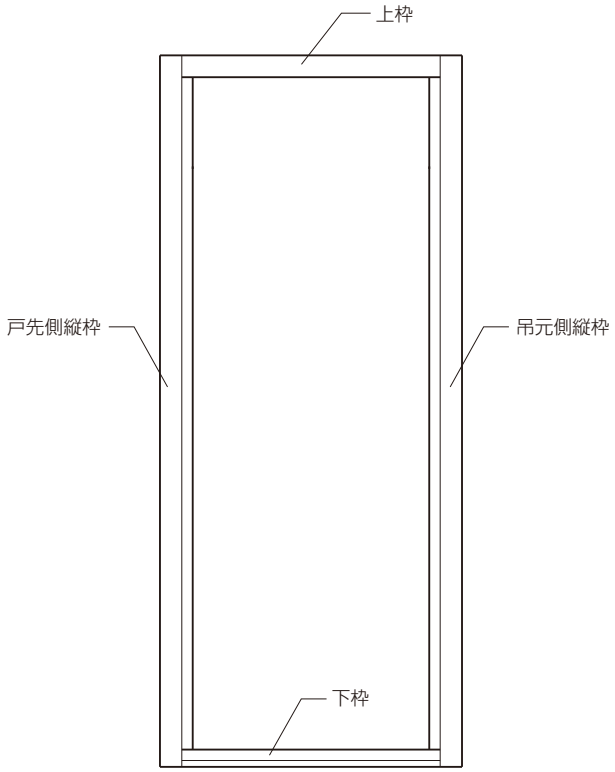




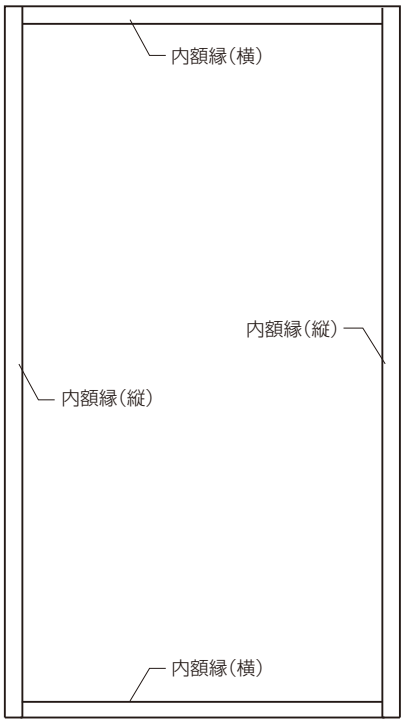
■部材構成図

※図は外観右吊元の場合です。左吊元の場合、左右対称となります。

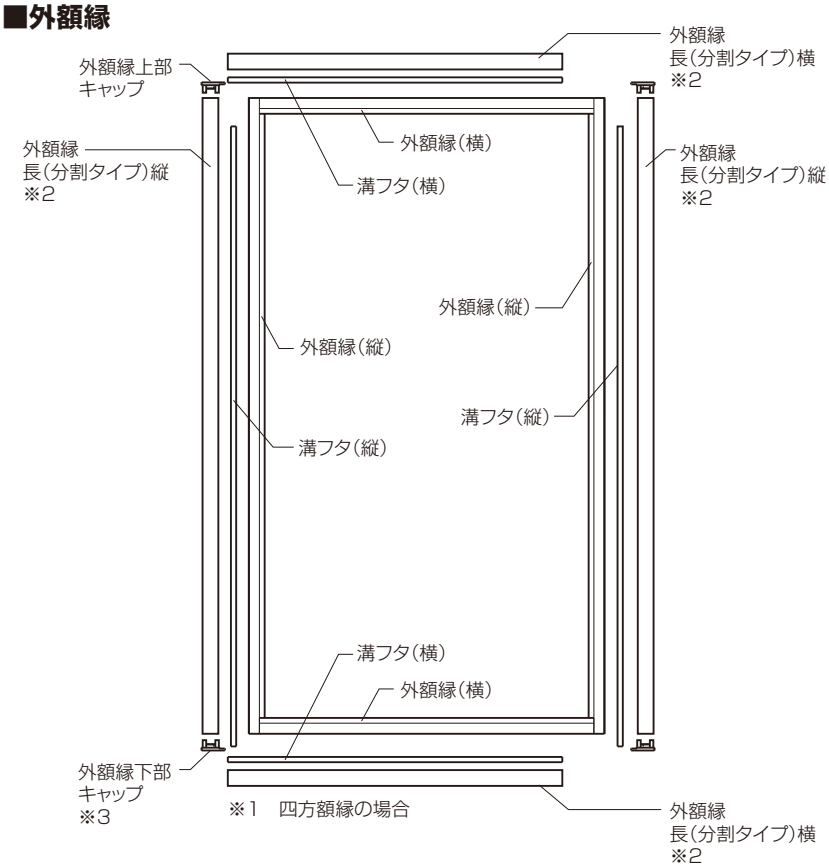
■枠



■内額縁



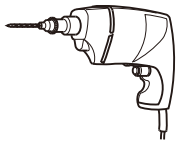
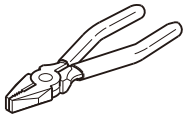
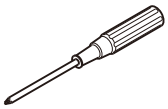
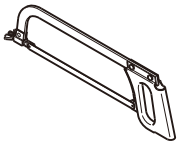
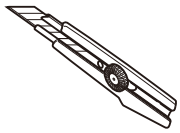
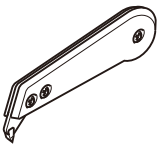
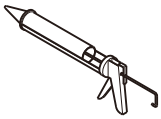
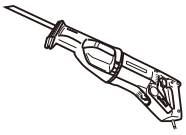
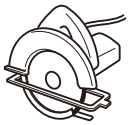
■外額縁



※1　四方額縁の場合

※1　外額縁には三方額縁と四方額縁の仕様があります。
※2　三方額縁は一体タイプの場合があります。
※3　三方額縁では、現場納まりによって外額縁下部キャップは使用しない場合があります。

■使用工具一覧表

電動ドリル・電動ドライバー	くい切り	ペンチ
		
プラスドライバー	鉄ノコ	カッター
		
プラスチックカッター	コーキングガン	セーバーソー
		
丸ノコ		
		

※その他工具

新設枠の組立て・施工

■新設枠の組立て

⚠注　意

●漏水の原因になりますので、下記事項をお守りください。
・ねじは2.5±0.5N·m {25±5kgf·cm}のトルクで止めた後、ゆるみ・ガタツキのないことを確認してください。
・縦枠両端に張付けてあるコーキングシーラーが上・下枠の周りにはみ出すように合わせてからねじ止めしてください。

組立て上のお願い

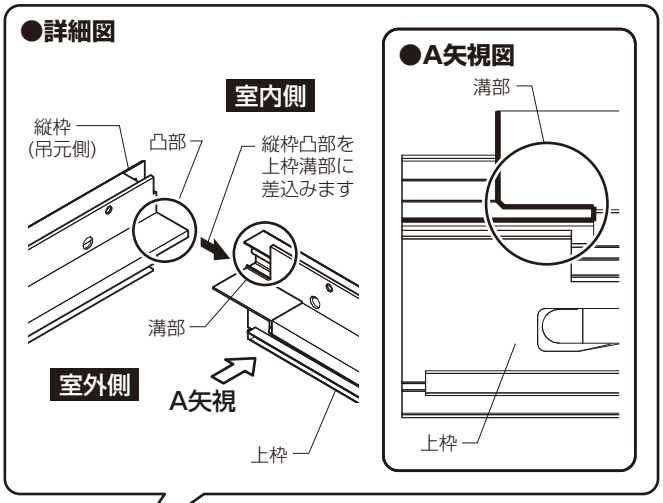
●必ず指定の組立てねじを使用してください。
●本体を新設枠に吊込んだ状態で運搬しないでください。新設枠が変形し、ドアの開閉に支障がでることがあります。
●下枠シブキ止めシールは性能保持のための重要な部品です。はがれていないことを確認してください。
●ソリ防止のため、樹脂面を直射日光に当てた状態で放置しないでください。
●樹脂は割れたり傷ついたりしやすいため、ぶつけたりこすったりしないでください。
●樹脂材に荷重がかからないよう、保管・輸送の際は保護してください。

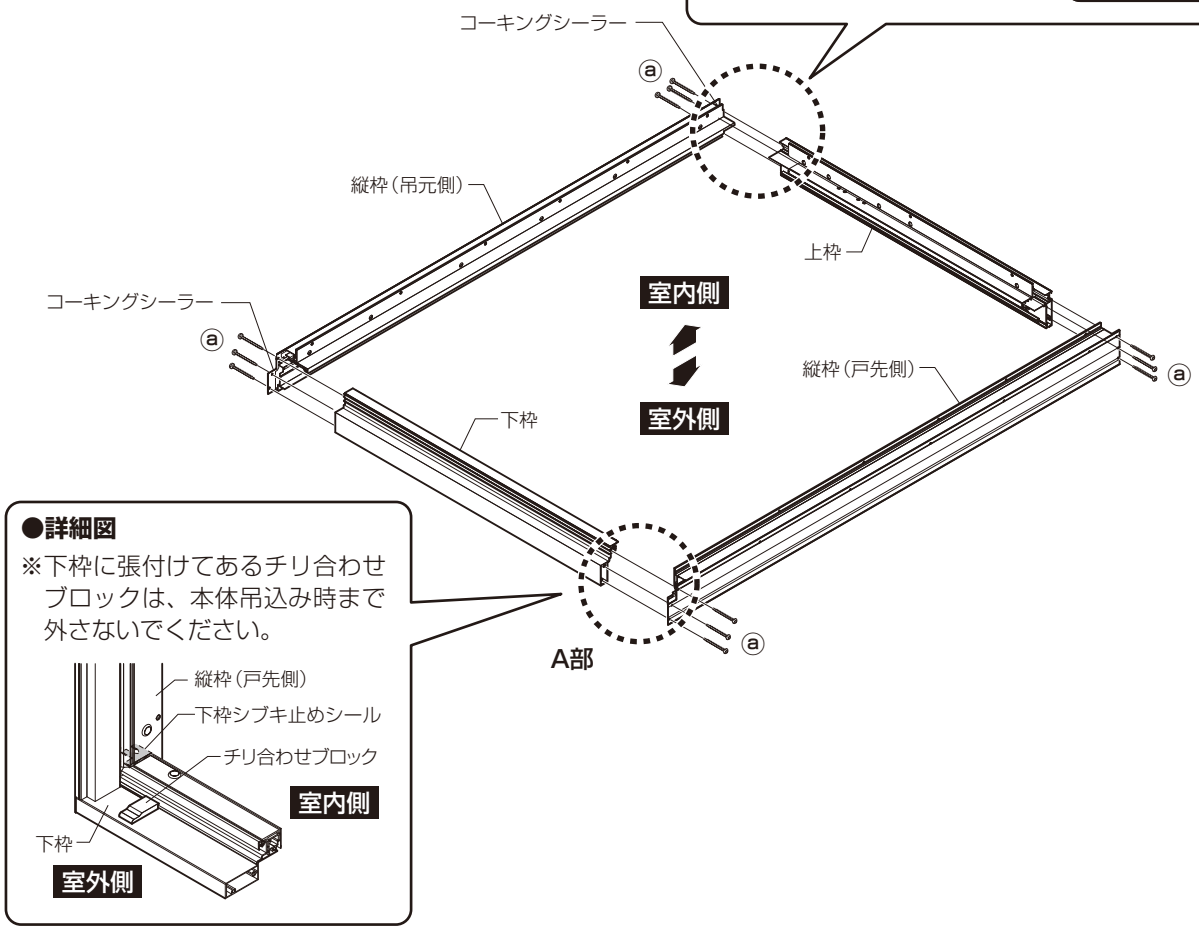
■組立てねじ

記号	名称	姿図
ⓐ	バインドタッピンねじ (2 種)φ 4×30	

高断熱仕様の場合：12 本
断熱仕様の場合：10 本

①下枠両端に張付けてある下枠シブキ止めシールが、ずれたり・めくれたりしていないことを確認してください。
②縦枠と下枠のすき間を下枠シブキ止めシールで埋めながら、ⓐバインドタッピンねじで枠を組立ててください。（A部詳細図参照）
③縦枠を上枠に差込んでから、ⓐバインドタッピンねじで枠を組立ててください。



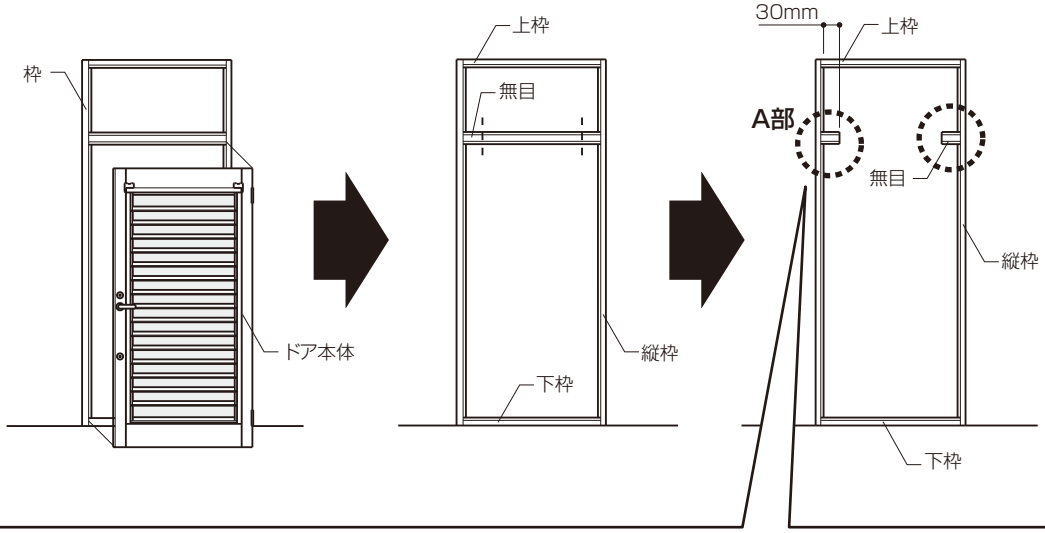


■既設ドアの取外し

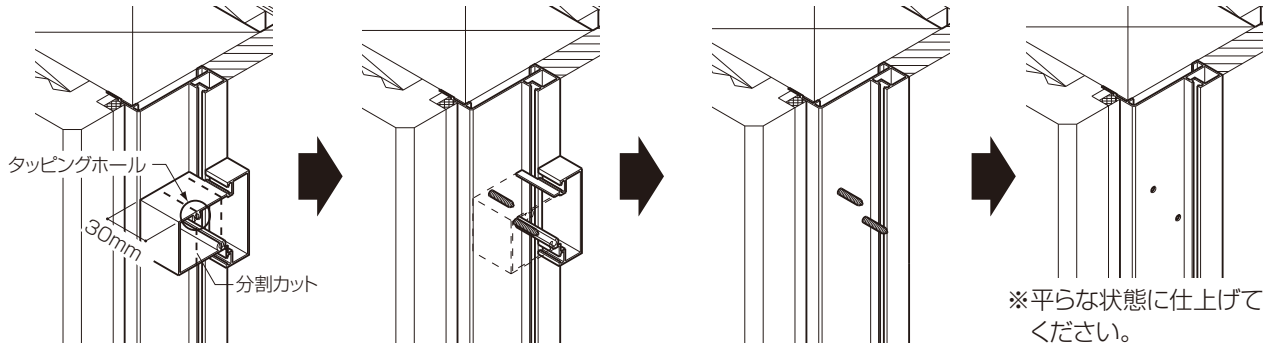
①既設のドア本体およびランマがある場合、ランマガラスを取外します。
②無目を切断して取除き、外枠(上枠・縦枠・下枠)のみ躯体に残します。

■既設枠がアルミ形材の場合

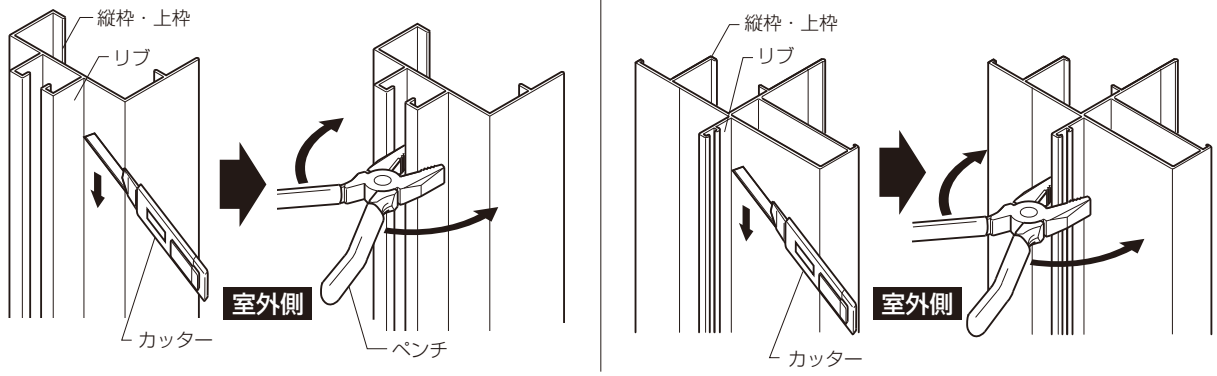
①無目は、縦枠連結部から約30mm残して切取ります。
②切り残した部材は、タッピングホール付近を分割して取りやすい状態にして外します。
③外枠に残ったねじを、くい切りなどで切断します。
④取付けに支障のあるリブが縦枠・上枠にある場合は、室外側のリブの付け根にカッターなどにて強く押当ててキズをつけ、ペンチで折取ります。(B図参照)



●A部詳細図



●B図



■新設枠の取付け

⚠注　意

●本製品は、木造、フロア・土間納まり専用です。外壁工事を伴わない取付けの場合は、指定の箇所にシーリング材を充てんしてください。漏水の原因となります。

●製品強度の不足でドア本体・枠の脱落のおそれがありますので、下記事項をお守りください。

・躯体に取付ける際は、ねじかかり寸法は必ず20mm以上にしてください。

・躯体に取付ける際の枠取付けねじのねじ込みトルクは、ねじかかり寸法20mmの時1.2N·m（12kgf·cm）以上にしてください。

・躯体に取付ける際は、製品の強度確保のため、ねじかかり寸法は必ず20mm以上にしてください。

●思わぬケガをするおそれがありますので、下記事項をお守りください。

・建付け調整のとき、ピボットヒンジ取付けねじを全部外さないでください。

・本体吊込みの際は相応の人数で行ってください。（組立て後の本体重量は最大55Kg になります。）

■使用ねじ・部品一覧

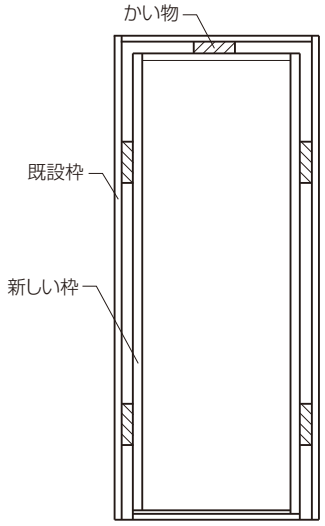
■使用ねじ・部品一覧

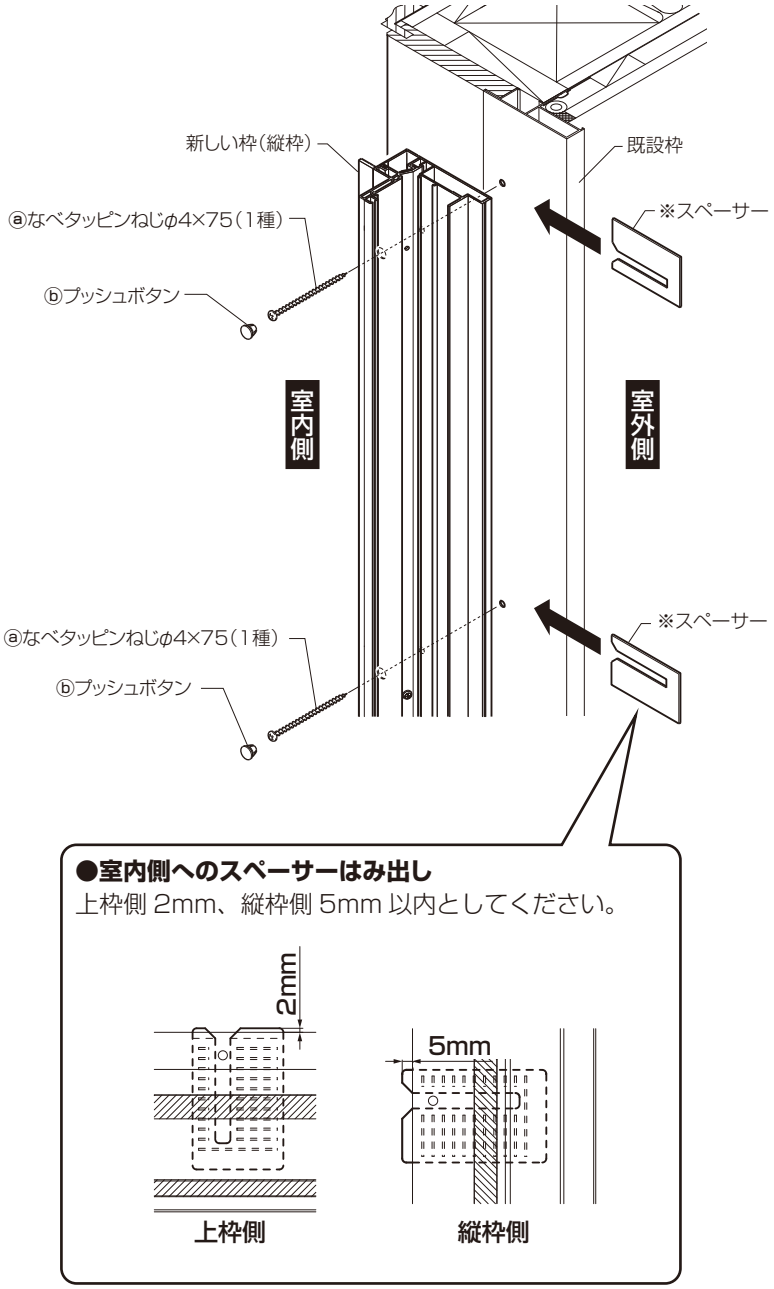
※取付けねじ本数およびプッシュボタンの個数は、取付け穴より多めに入っている場合があります。

ⓐ	ⓑ	ⓒ
枠取付け用	穴ふさぎ用	ドア本体取付け用
なべタッピンねじ φ4×75（1種）	プッシュボタン	ピボットヒンジ 取付け金具
ⓓ	ⓔ	ⓕ
ドア本体取付け用	下枠取付け用	下枠取付け用
トラス小ねじ M4×8	ボンデッドワッシャー付 バインドドリルねじ φ4×45	※コンクリート用 なべセルフタッピン アンカーねじ φ4×50

■新設枠の仮固定

①新設枠の水平･垂直を正しく出します。(調整が必要な場合は、
　かい物をご使用ください。)
②取付け位置決定後、新設枠の縦枠の取付け穴より、既設枠
　にφ4.5、躯体にφ3の下穴をあけます。
③縦枠を指定のねじで仮固定します。

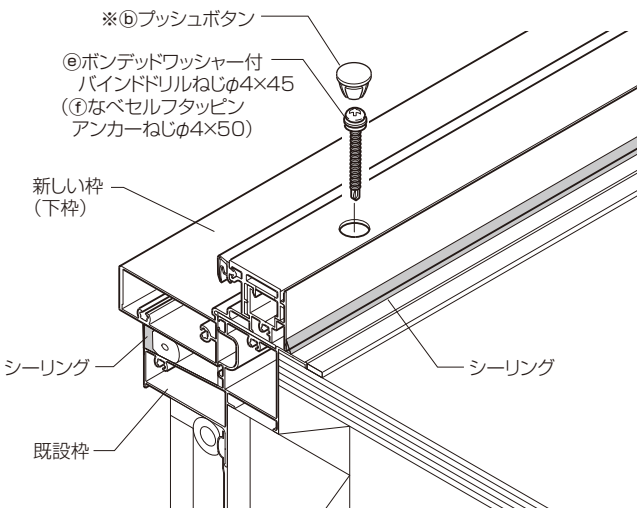


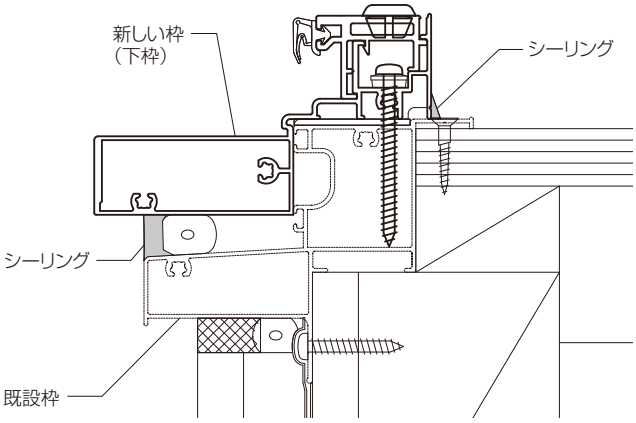


■下枠の固定

①下枠の取付け穴から既設下枠にφ3.5の下穴をあけて、ⓔボンデッドワッシャー付バインドドリルねじで既設枠に固定します。
既設枠が3方枠の場合、または土間に直接設置する場合は、ⓕなべセルフタッピンアンカーねじで固定します。
※オプションの下枠ステンレスカバーを使用する場合、ⓑプッシュボタンは不用となります。

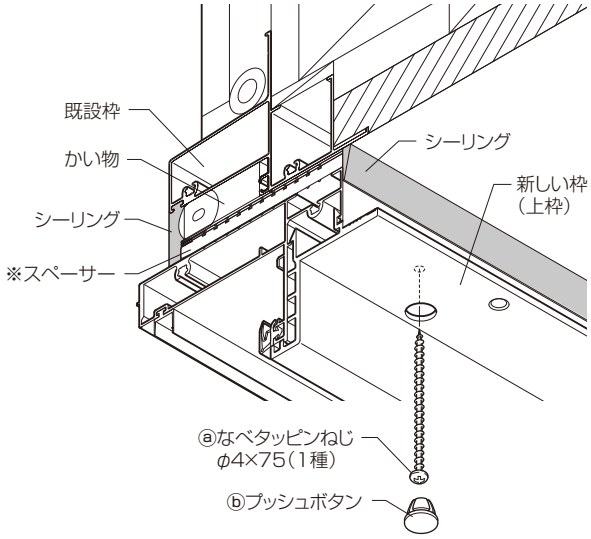
●下枠側





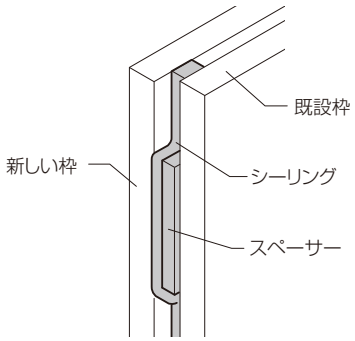
■上枠・縦枠の固定

①新設枠の上枠の取付け穴より、既設枠にφ4.5、躯体にφ3の下穴をあけます。
②吊元側縦枠→戸先側縦枠→上枠の順に、指定のねじで固定します。
③ⓑプッシュボタンをはめ込みます。
④既設枠と新設枠の接合部(室内側・室外側)にシーリング材を充てんします。
※シーリングは本体吊込み・建付け調整後に実施してください。



●シーリング

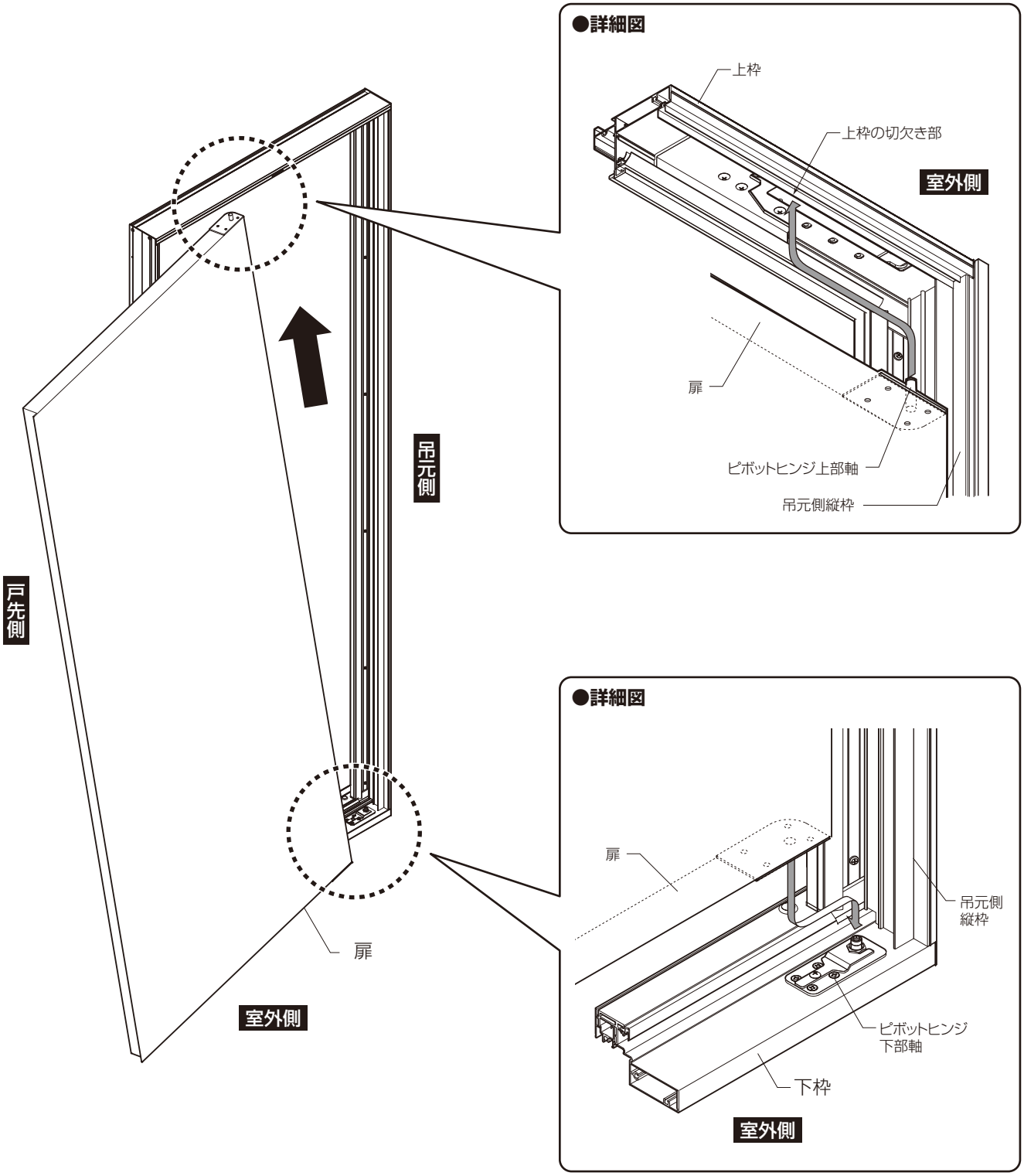
スペーサーのまわりにもシーリング材を充てんしてください。



■ドア本体の吊込み

吊込み上のお願い
●はじめにピボットヒンジ上部軸を差込んでください。 下部軸を先に差込むと吊込みできません。

①扉を斜めに持ち上げ、扉の上部にあるピボットヒンジ上部軸を上枠の切欠き部の端に差込みます。
②①の状態で扉をピボットヒンジ下部軸に差込みます。

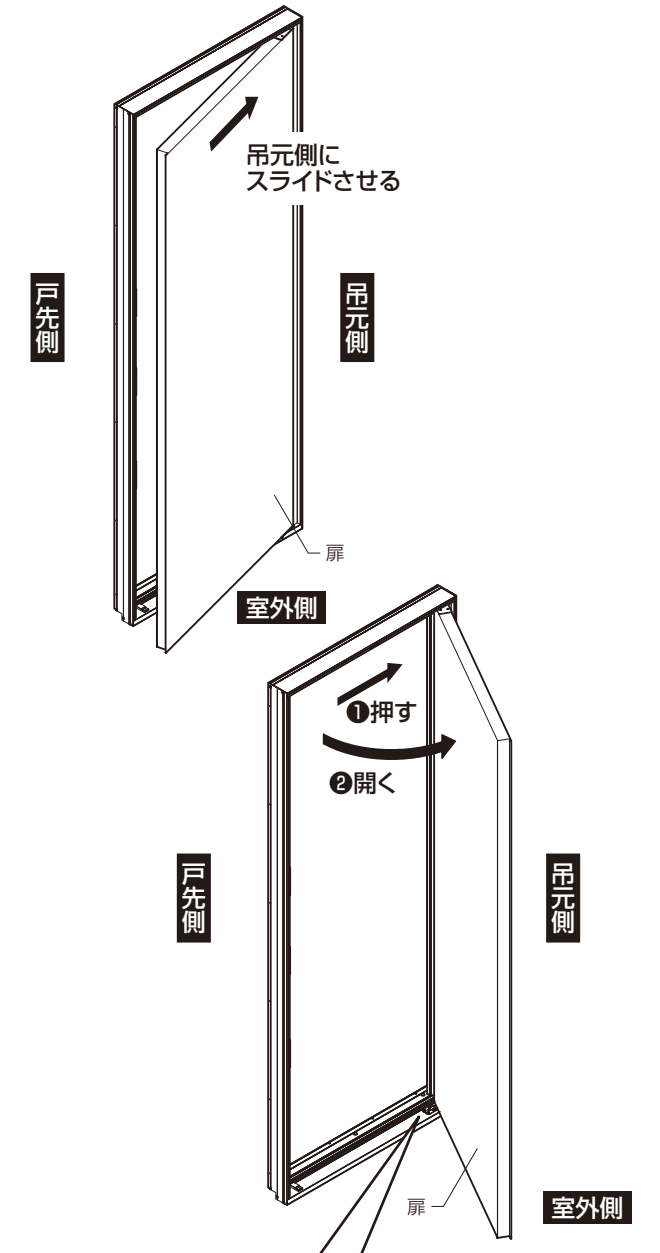


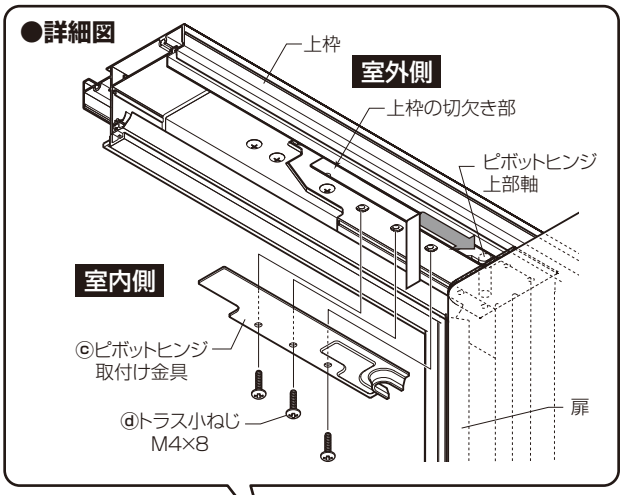
■ドア本体の吊込み（つづき）

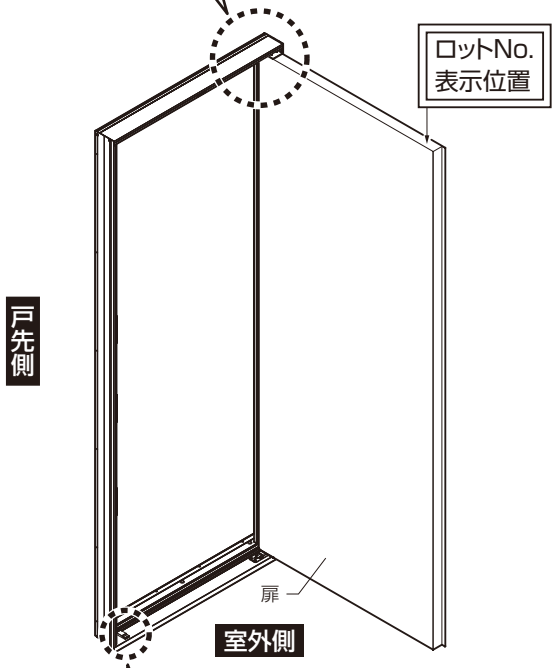
吊込み上のお願い

- ●下枠のピボットヒンジ取付けねじは仮止めの状態ですので、建付け調整をしない際は、$3.0^{+0.5}_{-0}$N・m {30^{+5}_{-0}kgf・cm} のトルクで対角順に締め付けてください。締め付けないと開閉不良など不具合が生じることがあります。
- ●取付け完了後は必ずチリ合わせブロックを取外してください。（ドアの開閉に支障がでます。）

③扉の上部を吊元方向にスライドさせた後、押しながら扉を開くと正規の位置になります。
④ⓒピボットヒンジ取付け金具を、扉のピボットヒンジ上部軸に差込み、ⓓトラス小ねじで固定します。
※必ず手回しドライバーをご使用ください。
⑤下枠に両面テープで張ってあるチリ合わせブロックを外します。

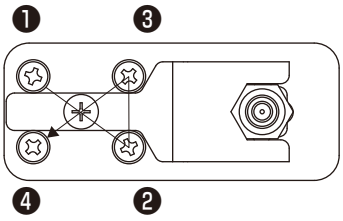


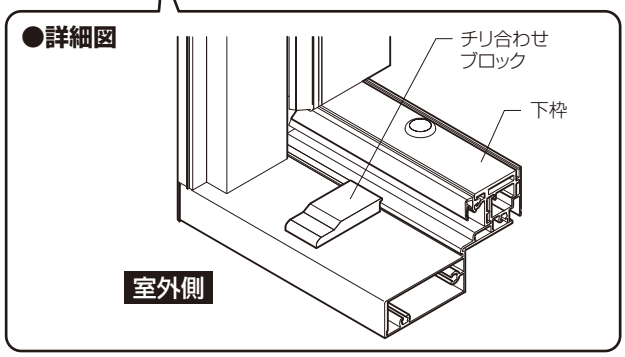




●ピボットヒンジ

取付けねじは30kgf・cmのトルクで対角順に締め付けてください。



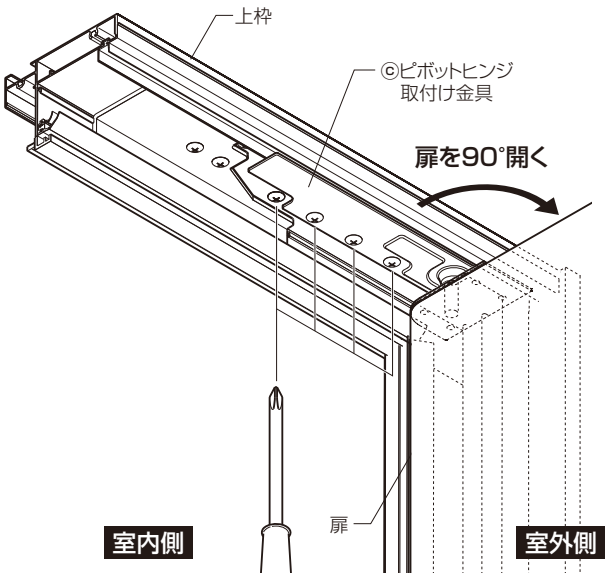


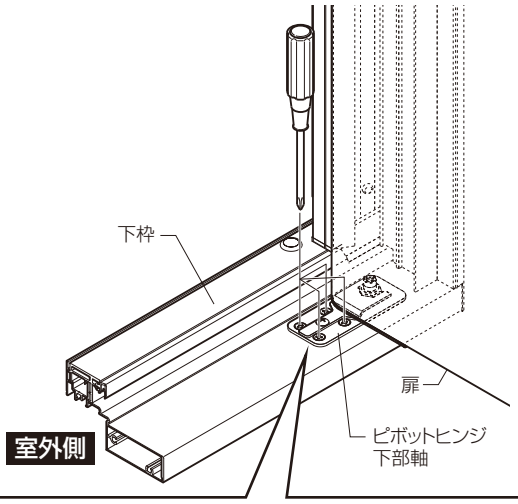
■建付け調整（前後左右方向の本体の調整）

建付け調整上のお願い

●下枠のピボットヒンジを調整した際、取付けねじは $3.0^{+0.5}_{-0}$N・m {30^{+5}_{-0}kgf・cm} のトルクで対角順に締め付けてください。
下枠のピボットヒンジを調整しない際も、取付けねじは $3.0^{+0.5}_{-0}$N・m {30^{+5}_{-0}kgf・cm} のトルクで対角順に締め付けてください。

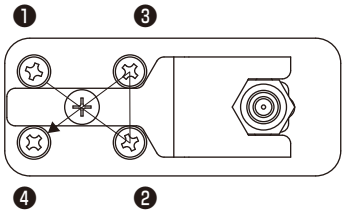
①扉を90°開きます。
②ⓒピボットヒンジ取付け金具のねじ4本をゆるめます。
③室外側方向に2.0mm、室内側方向に1.0mm、戸先側方向に1.5mm、吊元側方向に1.5mm動きますので、位置が決まったらねじを締め直してください。
④ピボットヒンジ下部軸のねじ4本をゆるめます。
⑤室外側方向に2.0mm、室内側方向に1.0mm、戸先側方向に1.5mm、吊元側方向に1.5mm動きますので、位置が決まったらねじを締め直してください。
※必ず手回しドライバーをご使用ください。

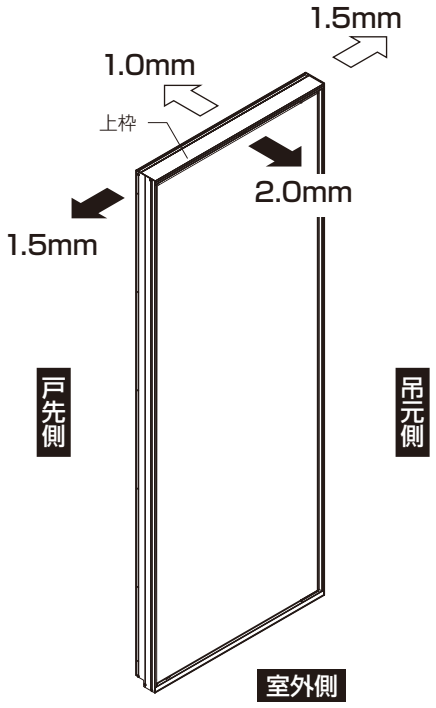


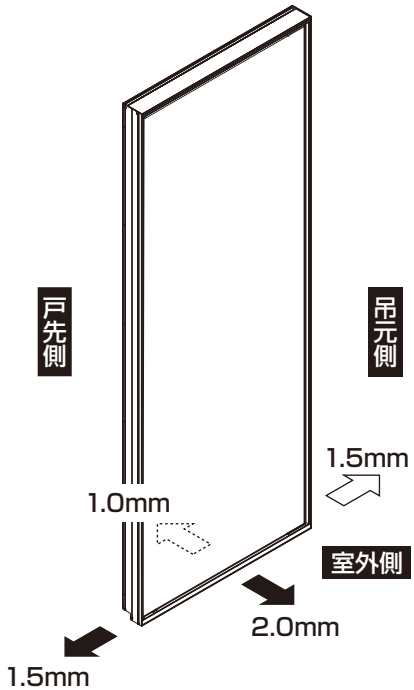


●ピボットヒンジ

取付けねじは30kgf・cmのトルクで対角順に締め付けてください。



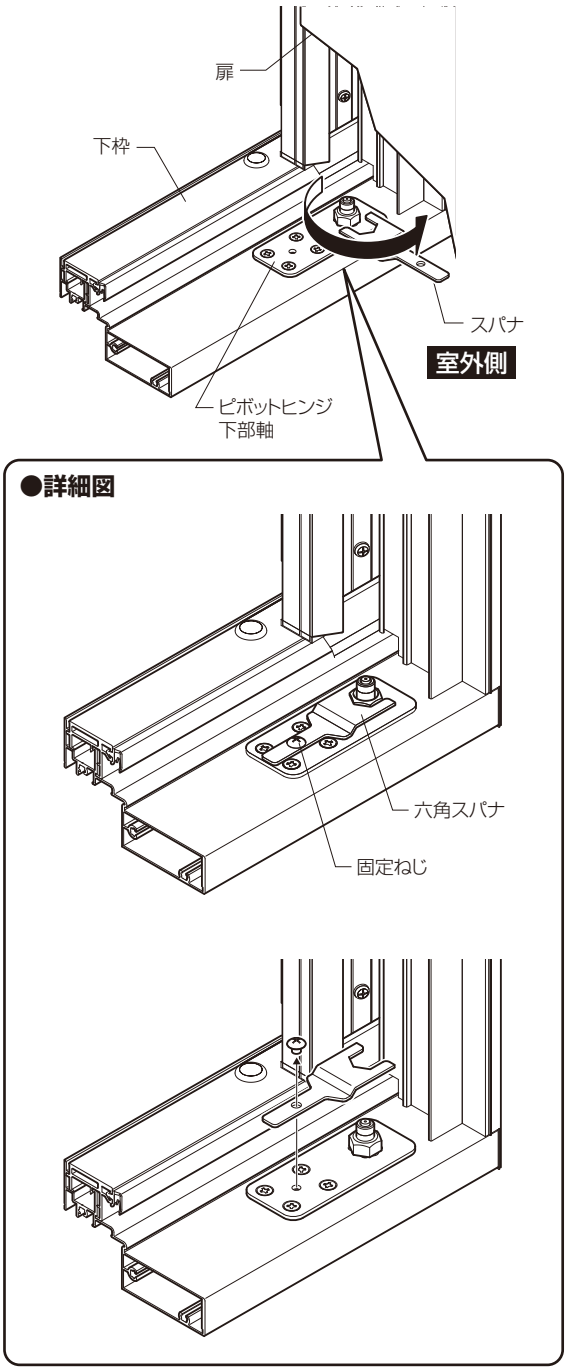




■建付け調整（上下方向の本体の調整）

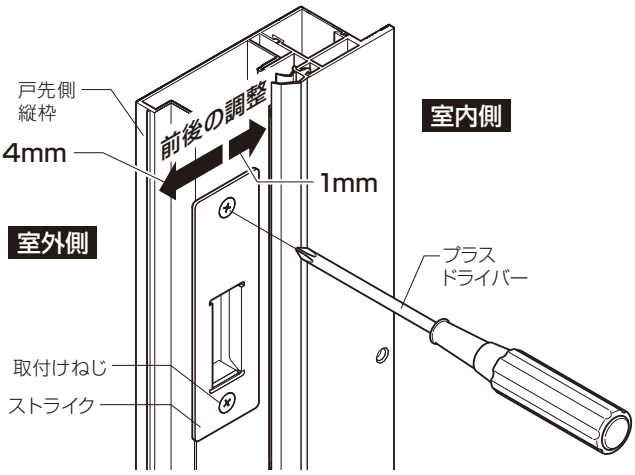
建付け調整上のお願い
●3mmを超えて上げないでください。 また、スパナは必ず元のとおりに取付けてください。 ナットが回転して開閉不良など不具合が生じることがあります。

①ピボットヒンジ下部軸に取付けされている六角スパナでピボットヒンジ下部軸のナットを右に回すことで上に最大3mmまで動かせます。
※右に90°回すことで約0.7mm上げる事ができます。
※六角スパナの固定ねじを外して使用してください。
②調整が終わったら、六角スパナを固定ねじで元のとおりに取付けてください。



■ストライク調整

ラッチがかからない場合は、以下の手順で調整してください。
①ストライクの取付けねじ2本をゆるめます。
②室外側方向に4mm、室内側方向に1mm動きますので、位置が決まったらねじを締め直してください。



■本体の戸先下がりが起きた場合の調整

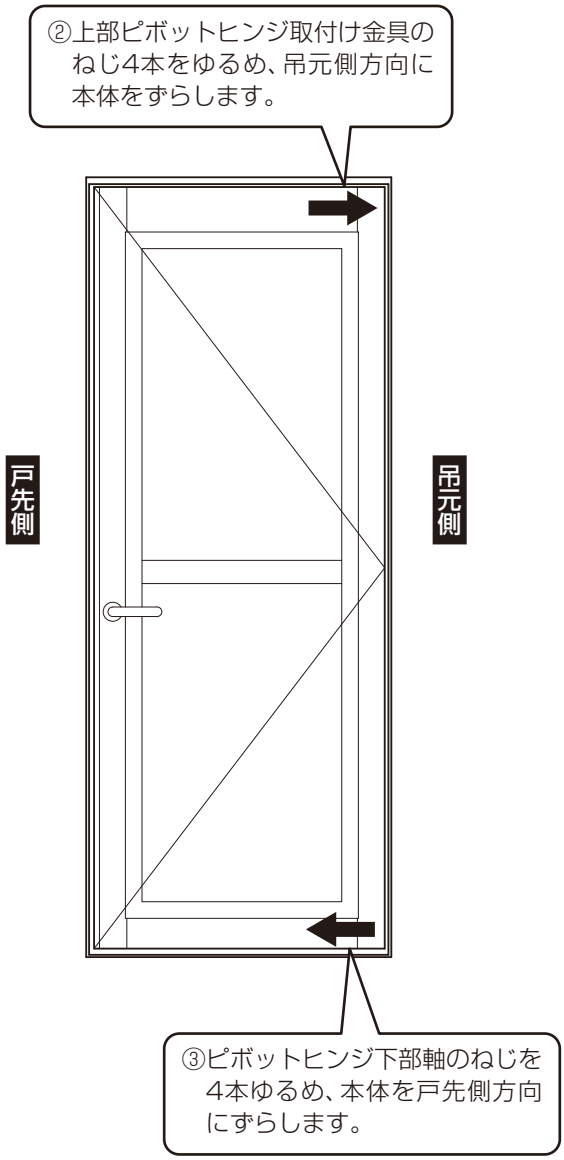
①ピボットヒンジ下部軸にて上下方向の調整を行なってください。

【①にて解決しない場合】

②上部ピボットヒンジ取付金具のねじ4本をゆるめ、吊元側方向に本体をずらしてください。

【①②にて解決しない場合】

③ピボットヒンジ下部軸のねじを4本ゆるめ、本体を戸先側方向にずらしてください。

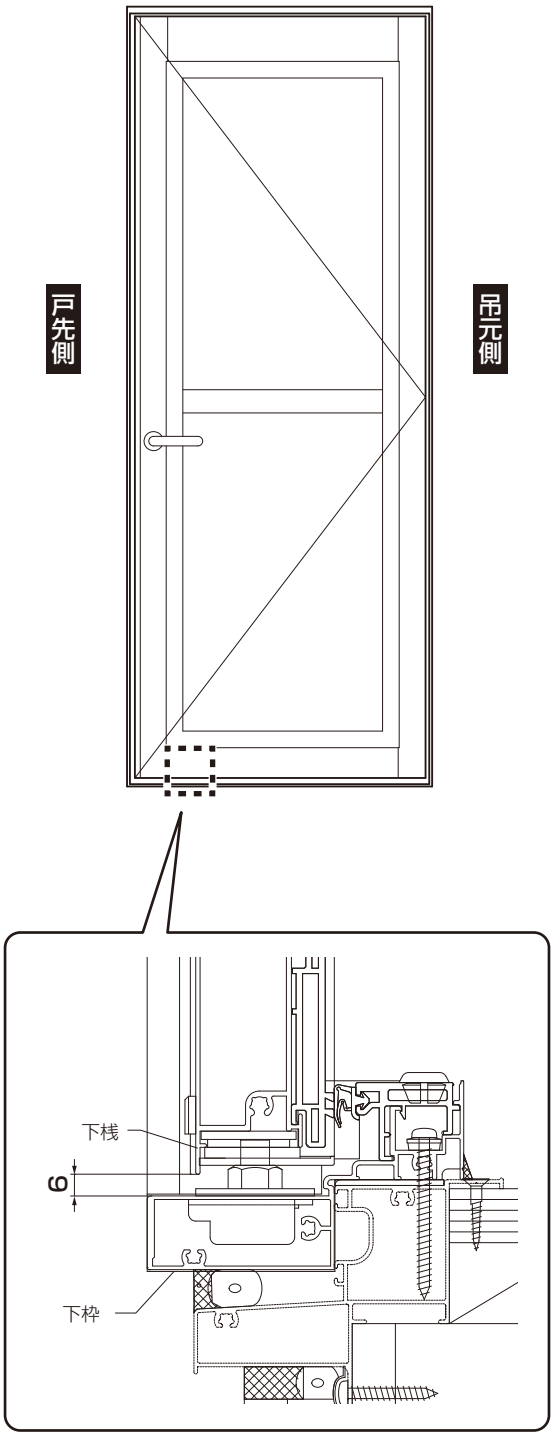


■本体の戸先下がりをチェック

本体下桟と下枠のすき間寸法を採寸してください。

・目安寸法　6mm

上記寸法が確保できていない場合は調整を行い、寸法の確保をお願いします。



内額縁の取付け（高断熱仕様・断熱仕様 内額縁調整用100の場合）

■内額縁の取付け

⚠注　意

●ねじの締めすぎに注意してください。電動ドライバー使用時は、0.5N・m{5kgf・cm}程度とし、最後は必ず手で締めてください。締め付け過ぎるとねじが効かなくなり脱落するおそれがあります。

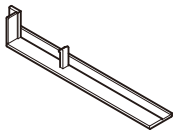
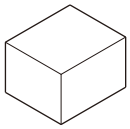
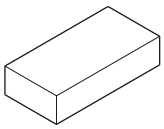
※必ず指定の組立て･取付けねじを使用してください。

※ソリや伸びを防止するため、直射日光に当てた状態で放置しないでください。

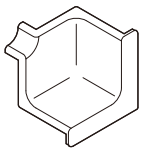
※樹脂は割れたりキズがついたりしやすいため、ぶつけたり、こすったりしないでください。

■使用ねじ・部品・見切材一覧

■使用ねじ・部品一覧

ⓐ	ⓑ
内額縁組立て用	内額縁端部キャップ
トラスタッピンねじ φ4×12（1種）	
ⓒ	ⓓ
取付補助ブロック	内額縁取付け用
	皿木ねじ φ3.1×20
ⓔ	
取付補助ブロック（縦）	
	

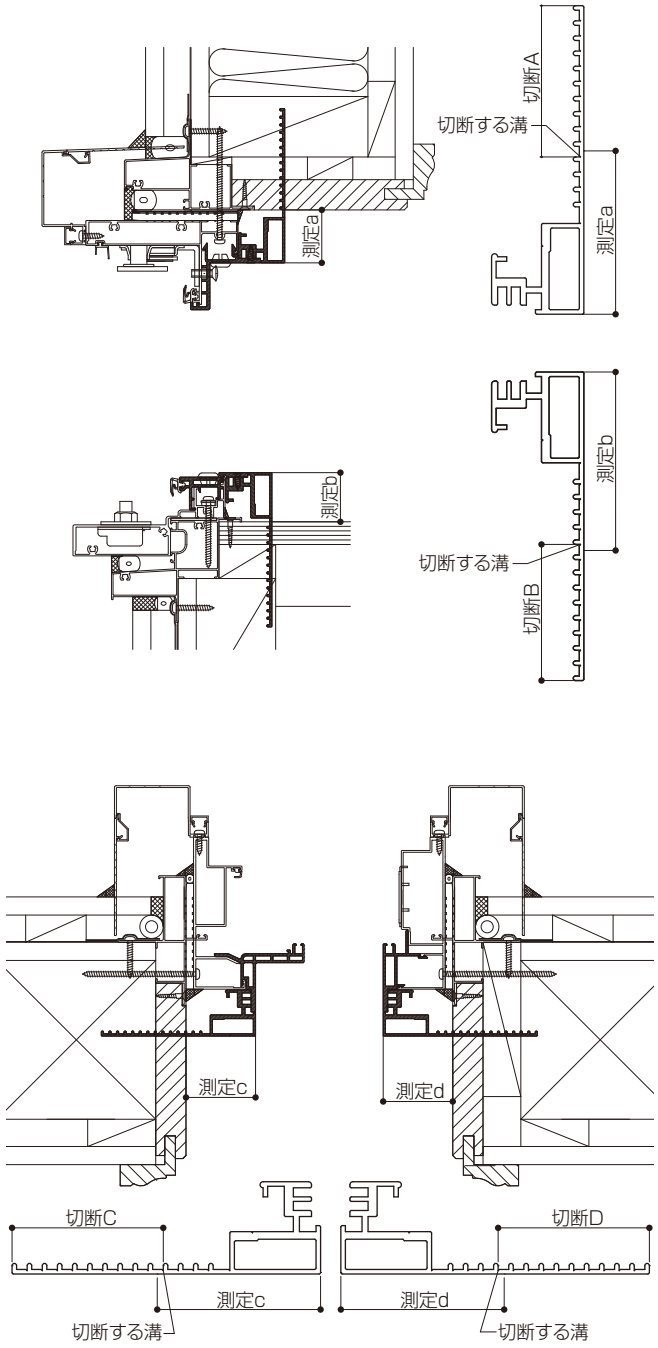
見切材（オプション品）

ⓕ	ⓖ
見切材コーナーピース	見切材取付け用
	皿木ねじ φ3.1×20

■内額縁の切断寸法の確認

新設枠アングルから既設窓枠までのa～dを測定し、切断する溝を決めてください。

上枠	下枠	左縦枠	右縦枠
a	b	c	d



■内額縁の加工

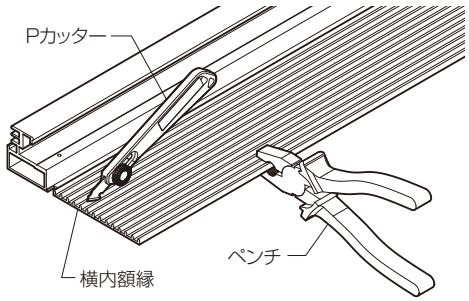
加工上のお願い

●切断面は鋭利な部分が残らないようにヤスリなどで仕上げてください。

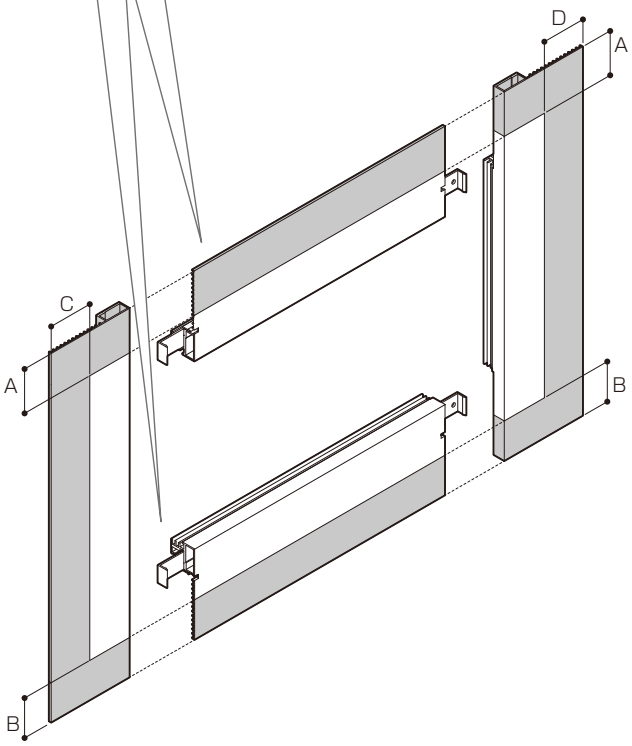
内額縁を決定した溝で切断してください。

ポイント

納まりにあう溝にPカッターで切目を入れ、ペンチなどで折取ってください。



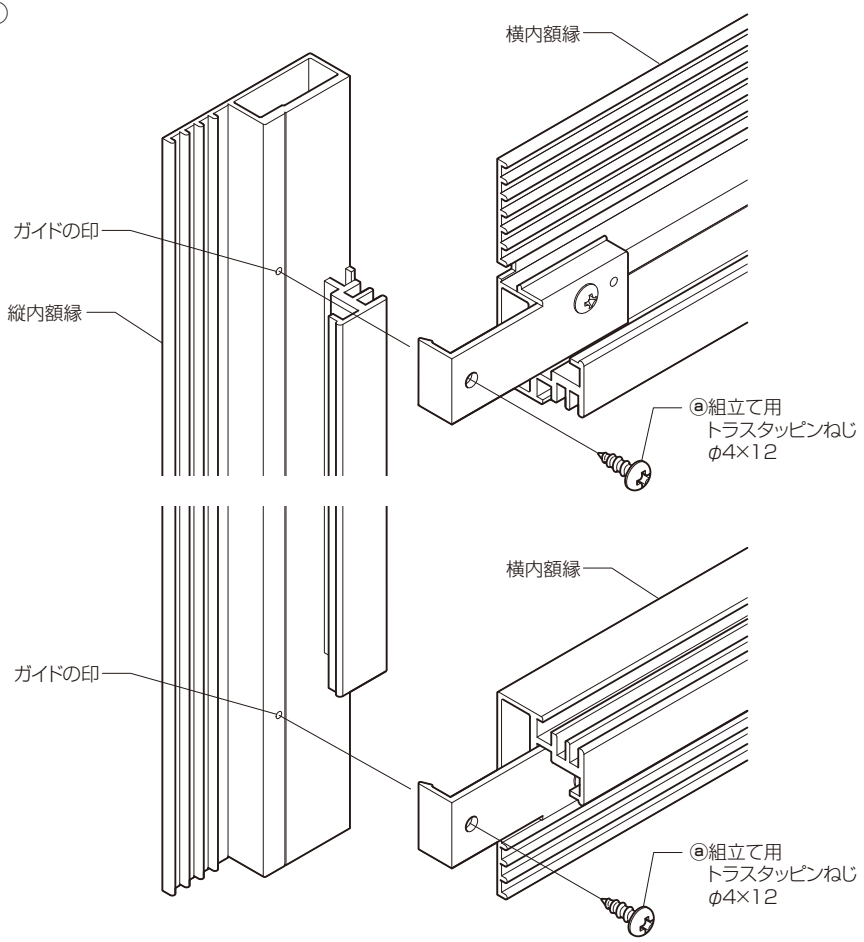
●縦内額縁のL寸切詰めは、上下内額縁の切断に合せて切断してください。切断した部材を当ててケガくと早く出来ます。



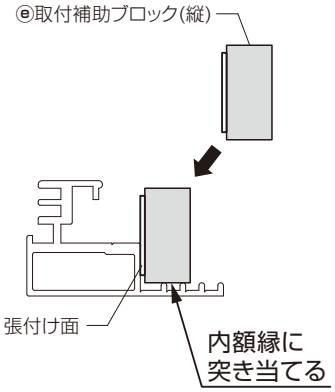
■内額縁の組立て

①ガイドの印に合わせて、同梱のⓐトラスタッピンねじを使用して組立てしてください。
②P.18で測定したc、dが45以上の場合は、縦の内額縁にⓔ取付補助ブロック(縦)をおおよそ均等に左右各3個張付けてください。
③P.18で測定したa、bが50以上の場合は、下の内額縁にⓒ取付補助ブロックをおおよそ均等に3個張付けてください。
※取付補助ブロックの向きに注意してください。

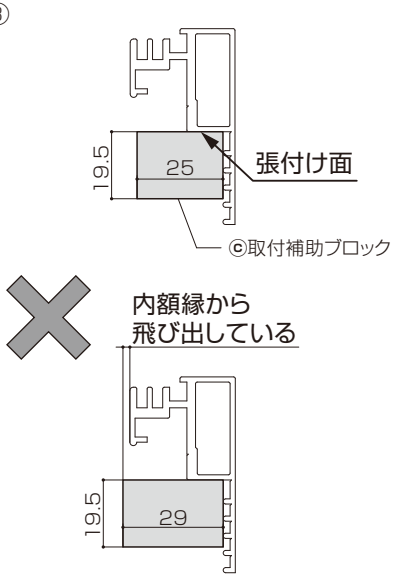
①



②

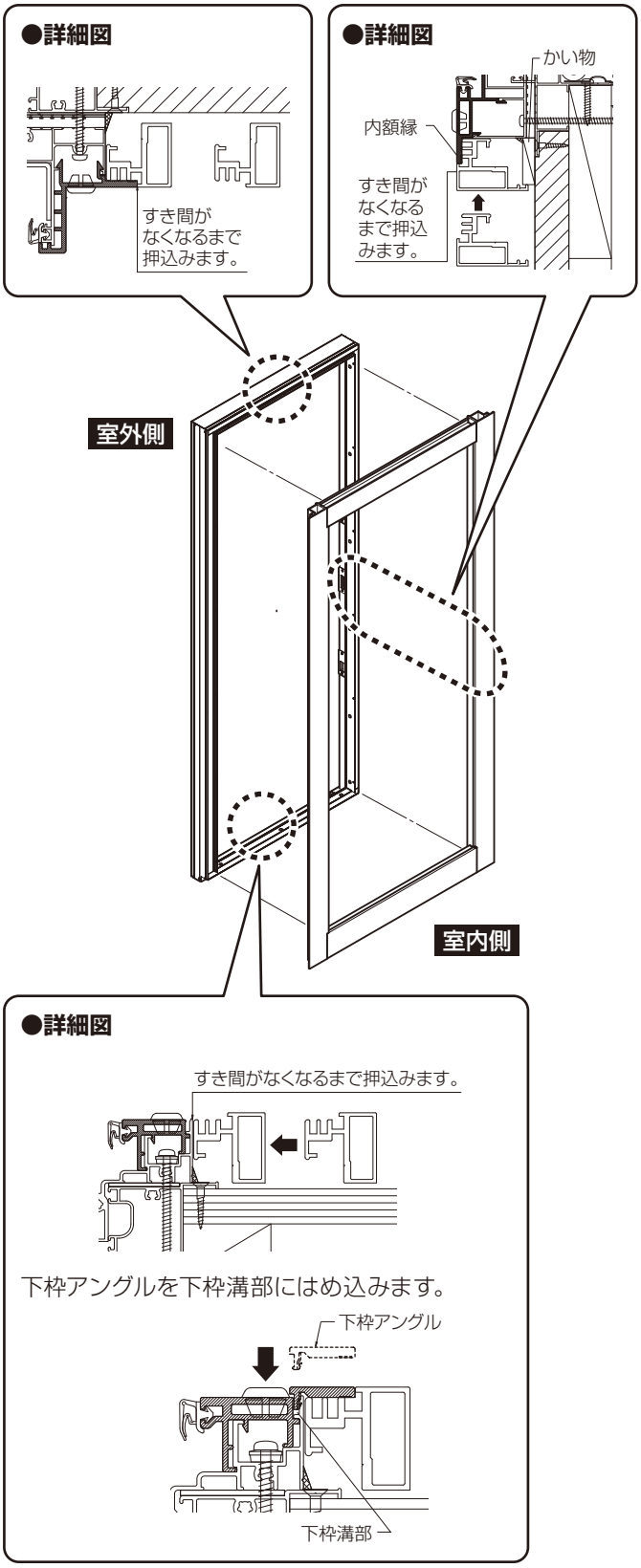


③



■内額縁の取付け

室内側の枠に組立てた内額縁を挿入します。
※足が長くガタつく場合は、かい物を入れて調整してください。



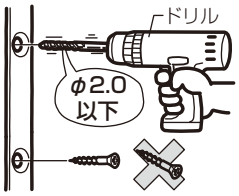
■内額縁の固定

⚠注　意

●ねじの締めすぎに注意してください。電動ドライバー使用時は、0.5N・m {5kgf・cm}程度とし、最後は必ず手で締めてください。締め付け過ぎるとねじが効かなくなり脱落するおそれがあります。

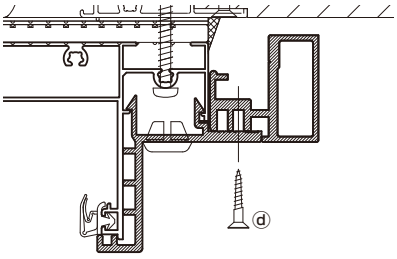
固定上のお願い

●ねじはまっすぐにねじ込んでください。

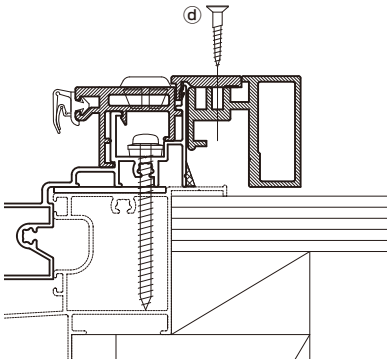


①内額縁を枠にすき間なく押し当て、アングルの皿穴加工部から、内額縁のV溝にφ1.5～2のドリルで下穴を開けます。
②ⓓ皿木ねじで固定してください。
※ねじはまっすぐにねじ込んでください。
※ねじの締めすぎに注意してください。
形材が変形などをおこさない程度に締め付けてください。

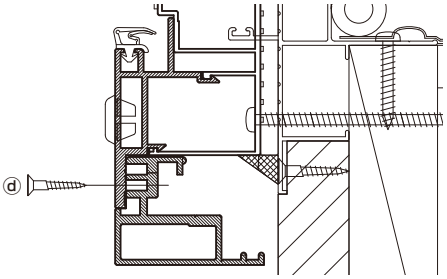
●上枠



●下枠

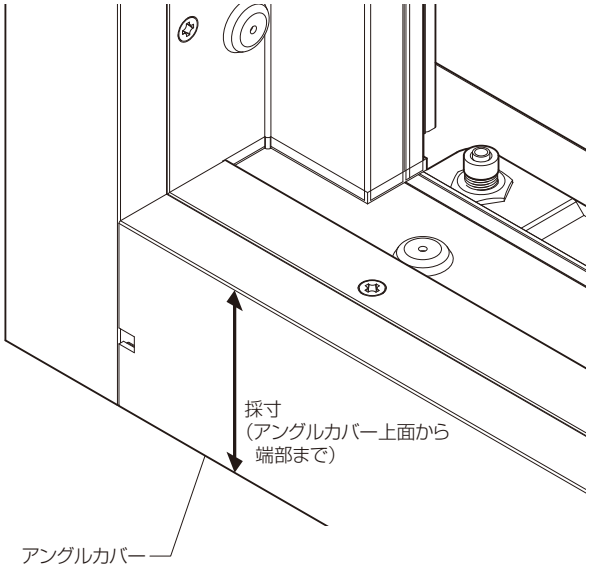


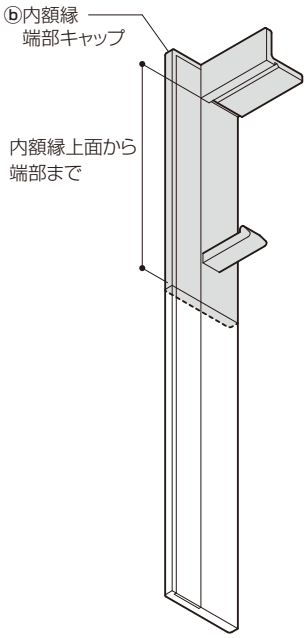
●縦枠



■内額縁端部キャップの加工（見切材なしの場合）

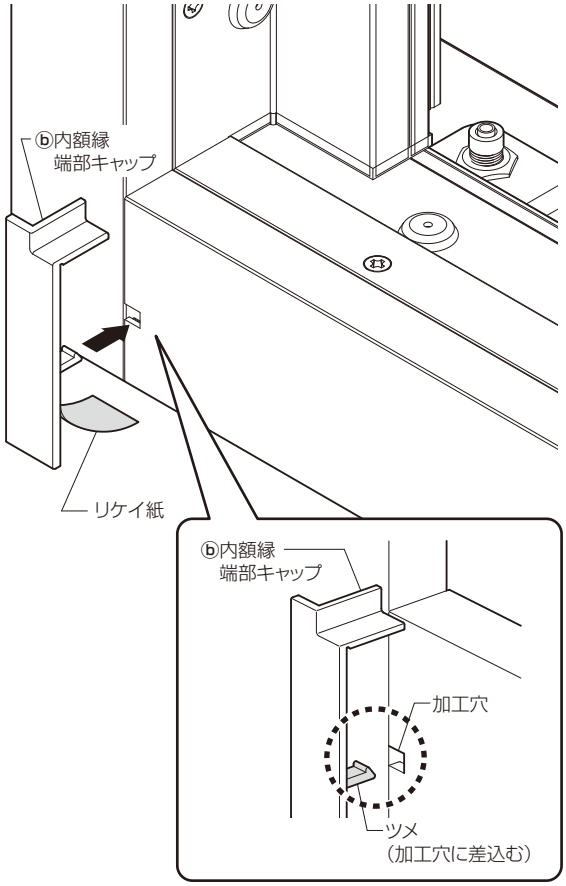
ⓑ内額縁端部キャップを内額縁に合せて切断してください。





■内額縁端部キャップの取付け（見切材なしの場合）

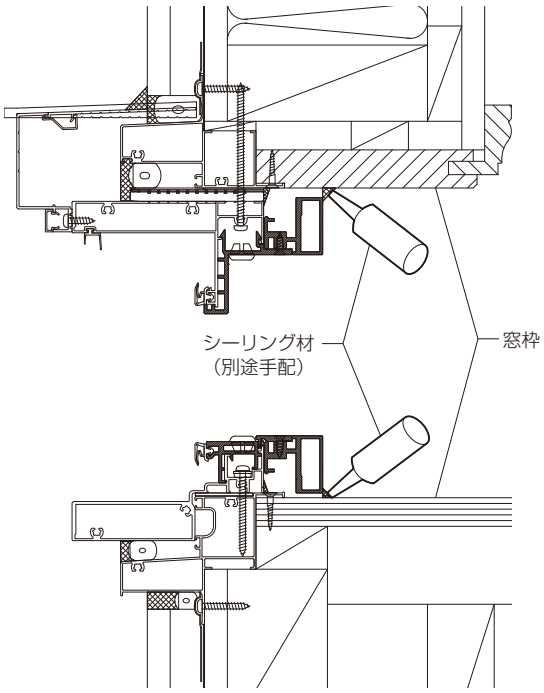
ⓑ内額縁端部キャップのリケイ紙をはがして、端部加工穴に差込み、張付けてください。



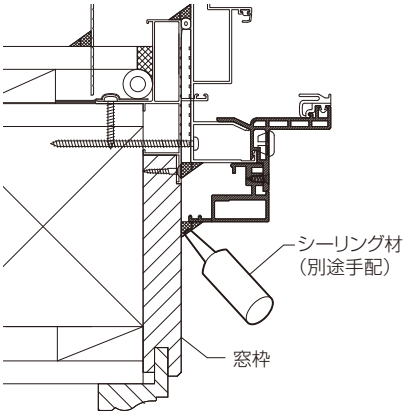
■内額縁のシーリング処理（見切材なしの場合）

①窓枠と内額縁のすき間をシーリング処理してください。

●縦断面図



●横断面図



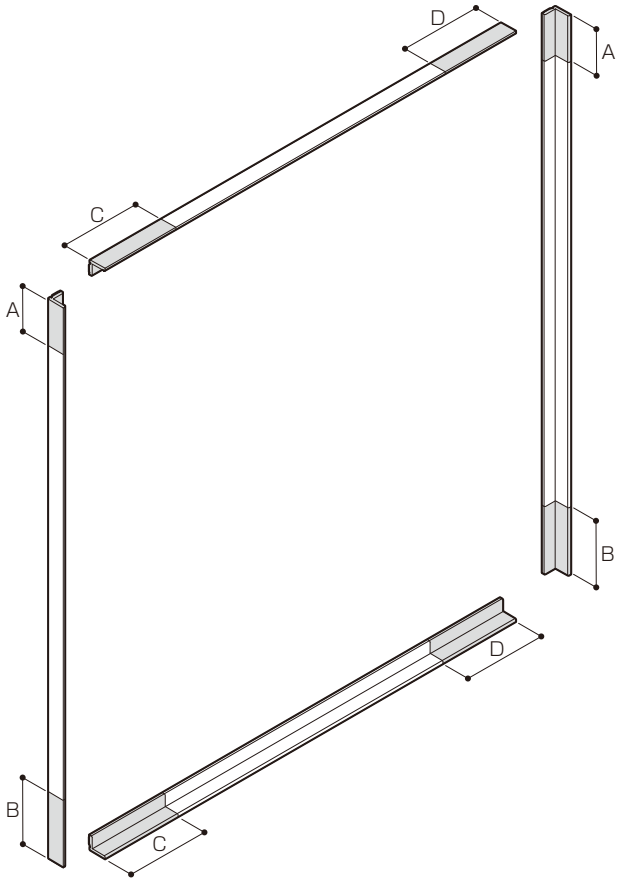
■見切材の加工

加工上のお願い

- 切断小口は鋭利は部分が残らないようにヤスリなどで仕上げてください。
- 見切材は上下寸法、左右寸法をそれぞれ端部から切断機などで切断してください。合計の切断寸法で片側から切断すると、新設枠のアングルねじと見切材固定ねじの位置にズレが発生します。

①P.18で測定したa ～dから、切断A ～Dを決めてください。
②見切材を決定したA ～Dに合せて切断してください。

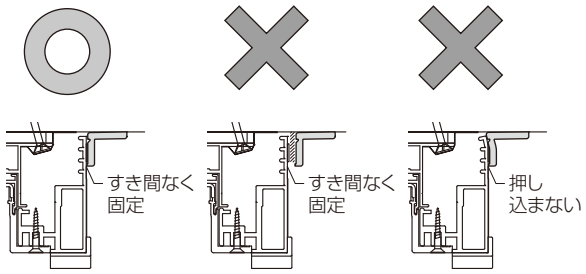
	上枠	下枠	左縦枠	右縦枠
採寸	a	b	c	d
切断	A（118−a）	B（118−b）	C（118−c）	D（118−d）



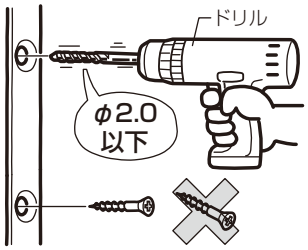
■見切材の取付け

取付け上のお願い

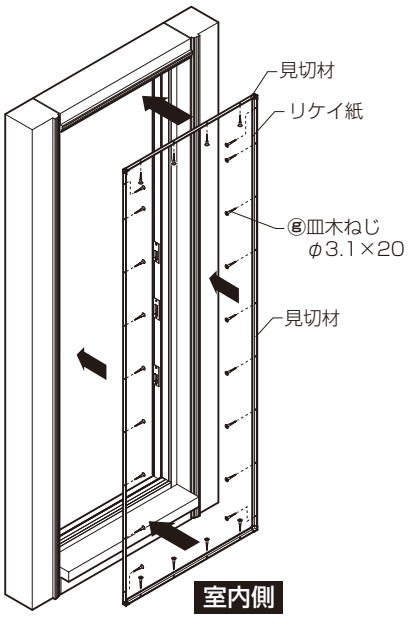
●見切材はすき間なく取付けてください。
その際、見切材を押し込んで、内額縁が曲がらないようにしてください。



●ねじはまっすぐにねじ込んでください。
●ねじの締めすぎに注意してください。

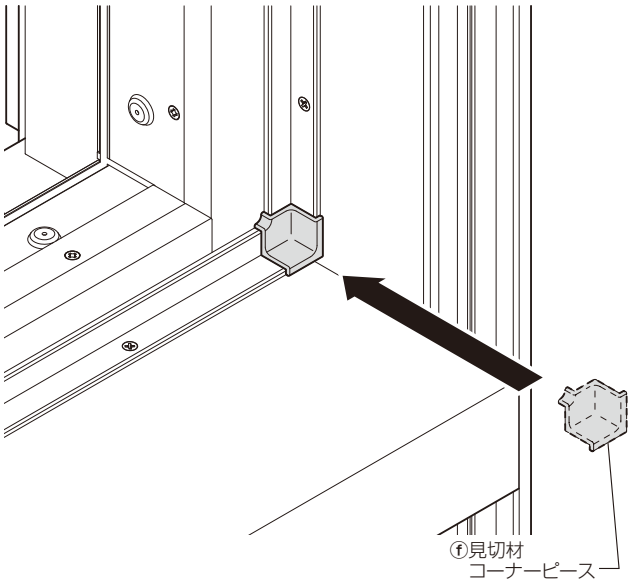


①見切材のリケイ紙をはがして、窓枠に当ててスライドさせながら内額縁とすき間が出ないように内額縁に押し付けて圧着してください。
※枠のアングルねじ穴と見切材の取付け穴位置を合わせて固定します。
②圧着したら、取付け穴に合せて窓枠に下穴(φ1.5～2)をあけ、ⓔ皿木ねじでねじ止めします。



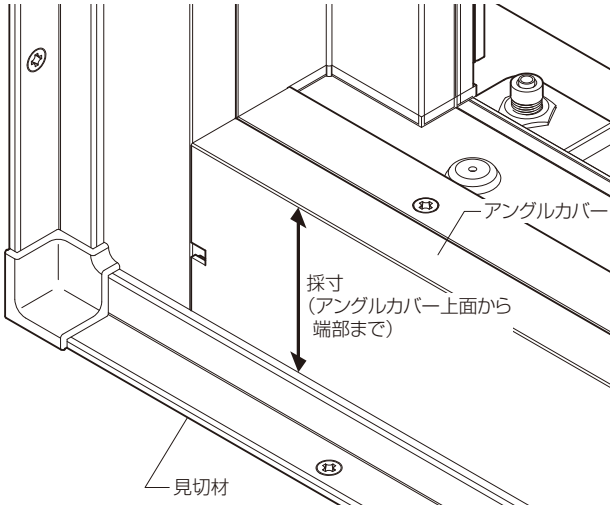
■見切材コーナーピースの取付け

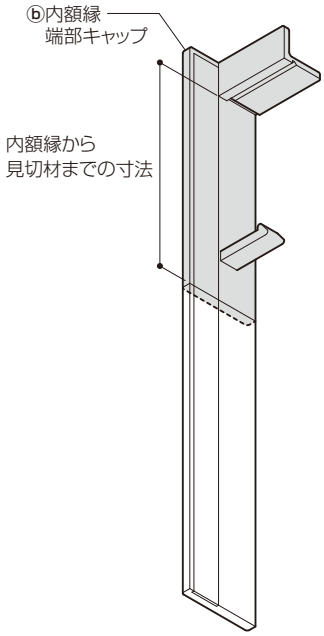
①ⓕ見切材コーナーピース取付け部を必ず清掃し、汚れ(泥・砂)・ホコリ・油などを取ってください。
※取付け部に汚れ(泥・砂)・ホコリ・油などが付着していると、両面テープの接着力が低下し、外れの原因になるおそれがあります。
②裏面のリケイ紙をはがし、見切材コーナー部に合わせます。
※張直しをしないでください。接着力が低下し、外れの原因になるおそれがあります。
③窓枠に強く押付けて圧着します。



■内額縁端部キャップの加工（見切材ありの場合）

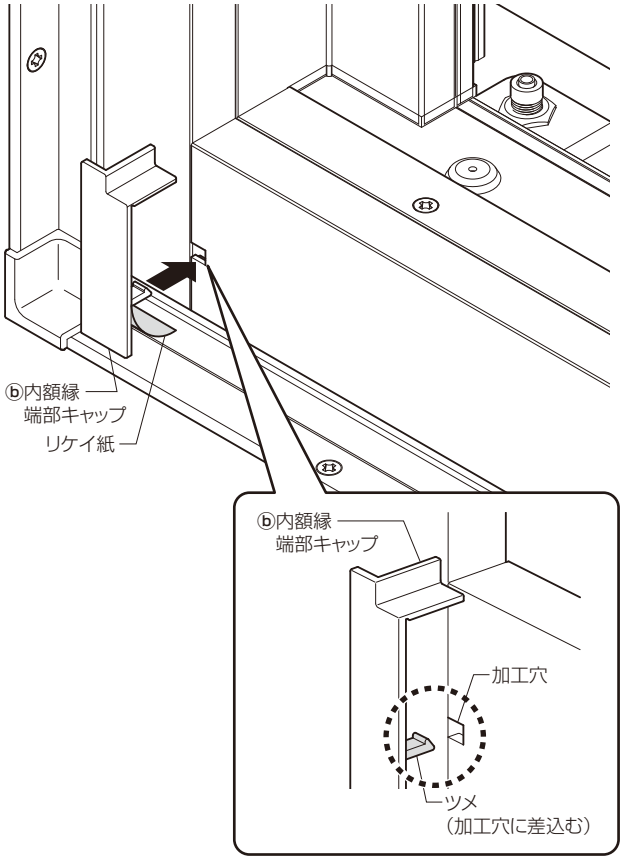
ⓑ内額縁端部キャップを内額縁・見切材に合せて切断してください。





■内額縁端部キャップの取付け（見切材ありの場合）

ⓑ内額縁端部キャップのリケイ紙をはがして、端部加工穴に差込み、張付けてください。



内額縁の取付け（断熱仕様 下枠段差30・40の場合）

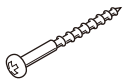
■内額縁の取付け

⚠注　意

●ねじの締めすぎに注意してください。電動ドライバー使用時は、0.5N・m{5kgf・cm}程度とし、最後は必ず手で締めてください。締め付け過ぎるとねじが効かなくなり脱落するおそれがあります。

※必ず指定の組立て・取付けねじを使用してください。
※ソリや伸びを防止するため、直射日光に当てた状態で放置しないでください。
※樹脂は割れたりキズがついたりしやすいため、ぶつけたり、こすったりしないでください。
※樹脂が割れたり変形することがありますので、組立てねじは1.0～1.5N·m{10～15kgf·cm}のトルクで止めてください。

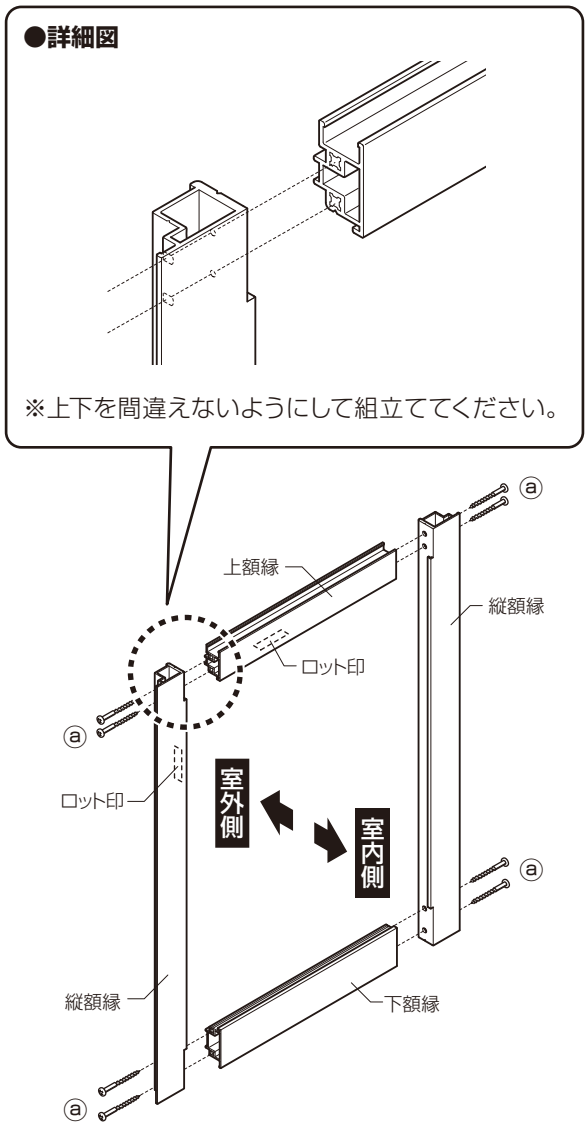
■使用ねじ一覧

ⓐ	ⓑ
内額縁組立て用	内額縁取付け用
 丸木ねじ φ3.8×50	皿タッピンねじ φ4×12

■内額縁の組立て

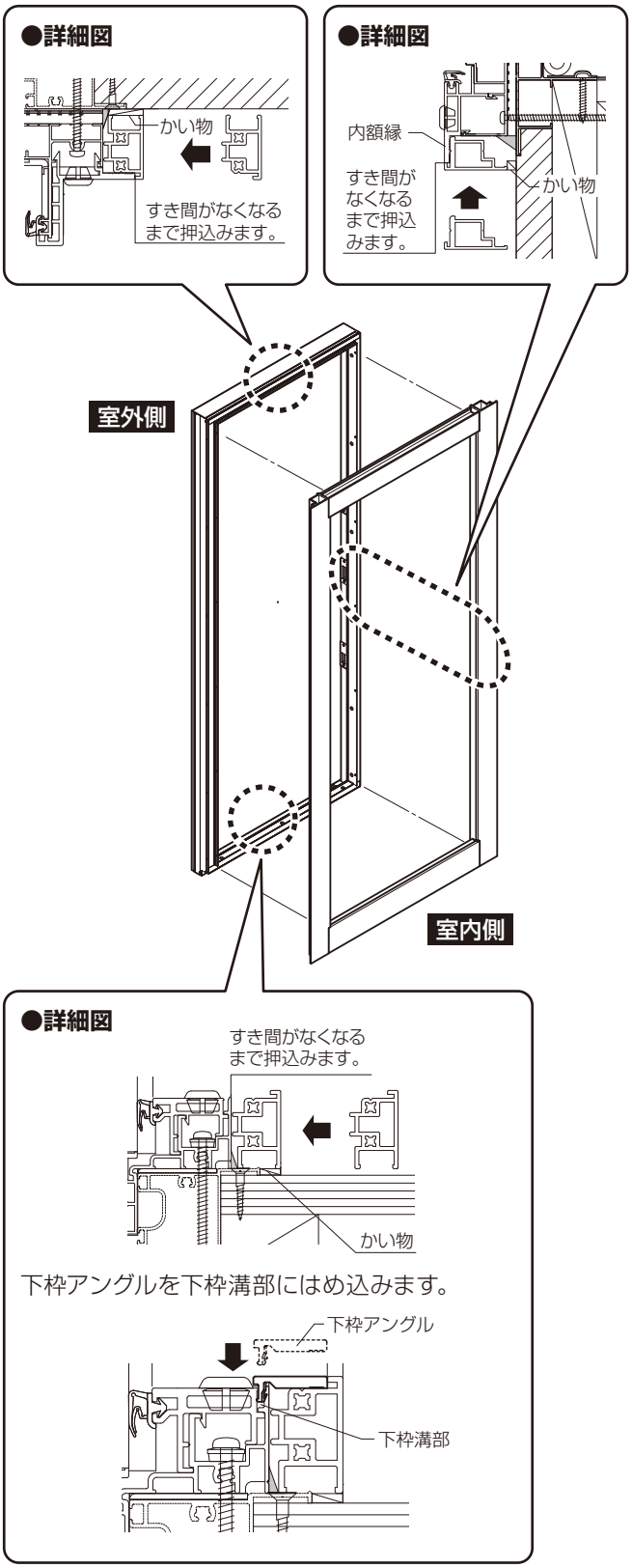
組立て上のお願い
●組立てねじは1.0～1.5N·m{10～15kgf·cm}のトルクで止めてください。樹脂が割れたり変形することがあります。

縦額縁の凹部に横額縁を合わせてから、ⓐ丸木ねじで枠を組立ててください。



■枠への取付け

室内側の枠に組立てた内額縁を挿入します。



※内額縁がガタつく場合は、内額縁と柱の間にかい物を入れて調整してください。

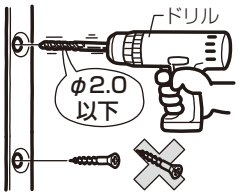
■内額縁の固定

⚠注　意

●ねじの締めすぎに注意してください。電動ドライバー使用時は、0.5N・m{5kgf・cm}程度とし、最後は必ず手で締めてください。締め付け過ぎるとねじが効かなくなり脱落するおそれがあります。

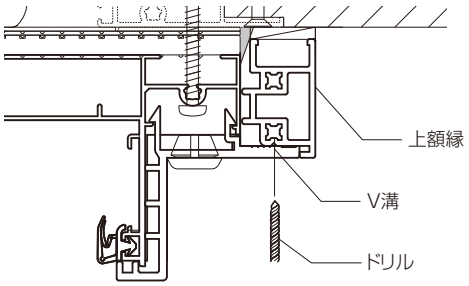
固定上のお願い

●ねじはまっすぐにねじ込んでください。

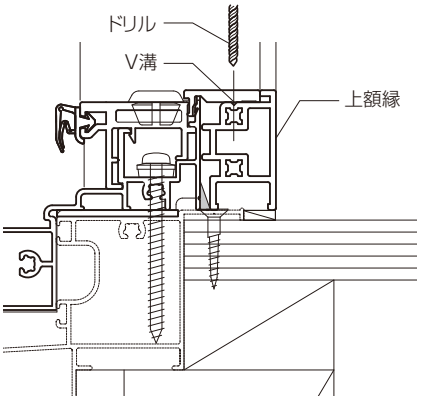


①内額縁を枠にすき間なく押し当て、アングルの皿穴加工部から、内額縁のV溝にφ1.5～2のドリルで下穴を開けます。

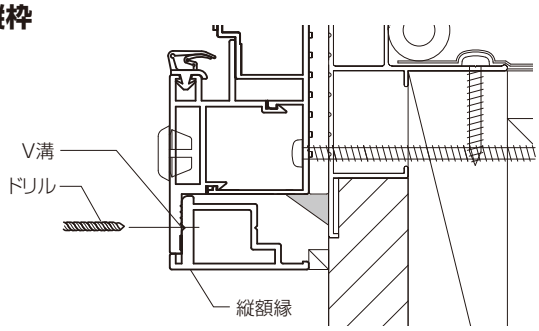
●上枠



●下枠

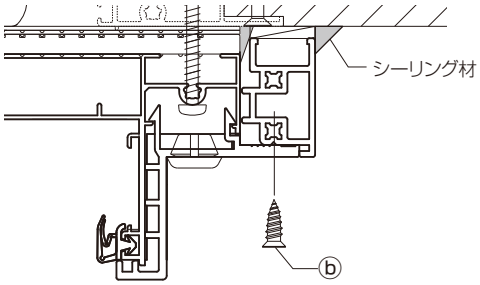


●縦枠

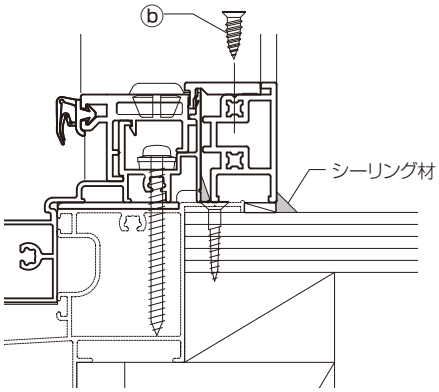


②ⓑ皿タッピンねじで固定してください。
※アングルねじはまっすぐにねじ込んでください。
※アングルねじの締めすぎに注意してください。
　形材が変形などをおこさない程度に締め付けてください。
③シーリング材で内額縁と窓枠のすき間を隠します。

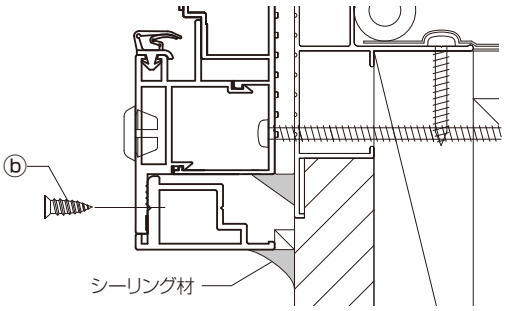
●上枠



●下枠



●縦枠



外額縁　25・50短（一体タイプ）の取付け

※三方額縁は25・50短（一体タイプ）、25・50・75長（分割タイプ）の5種類があります。現場の納まりに合わせて部材を選択し、取付けてください。
※取付けの図はすべて外額縁25短（一体タイプ）で説明しています。
※外額縁は本体を吊込んだ後に取付けてください。順序を間違えると取付けができなくなります。

■使用ねじ・部品・部材一覧

■使用ねじ一覧

ⓐ	ⓑ
外額縁取付け用	外額縁下部キャップ取付け用
なべドリルねじ φ4×13	トラスタッピンねじ φ4×10（1種）

■部品一覧

ⓒ	ⓓ
外額縁上部キャップ （外額縁25 用）	外額縁下部キャップ （外額縁25 用）
ⓔ	ⓕ
外額縁上部キャップ （外額縁 50 用）	外額縁下部キャップ （外額縁 50 用）

■部材一覧

外額縁25短（一体タイプ）	外額縁50短（一体タイプ）

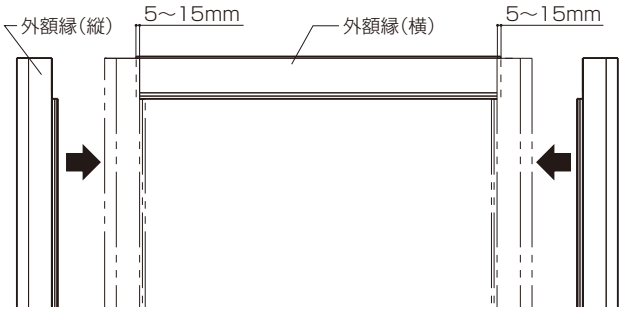
※現場納まりによって外額縁下部キャップは使用しない場合があります。

■切詰め加工

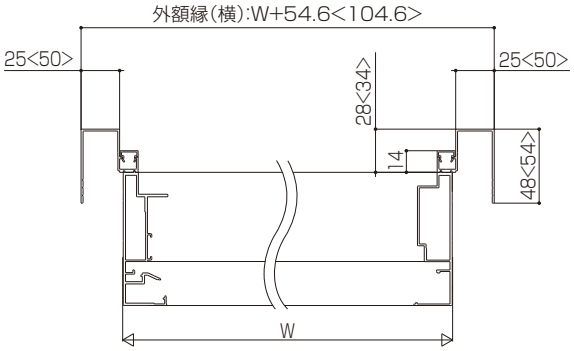
①外額縁（横）、溝フタ（横）の切断寸法は、下表の切断寸法計算式より算出して切詰めてください。

■切詰寸法計算式

部材名	切断寸法計算式
外額縁25・50短（一体タイプ）横	W+20
溝フタ（横）	W+20

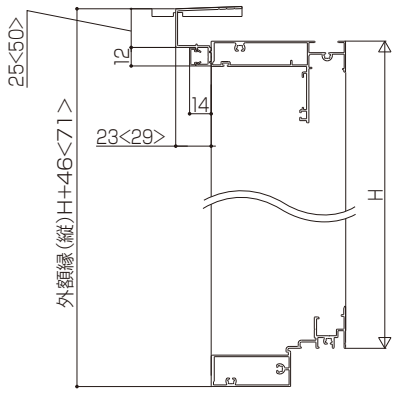


●横断面図



＜ ＞内寸法は外額縁 50短（一体タイプ）を示します。

●縦断面図



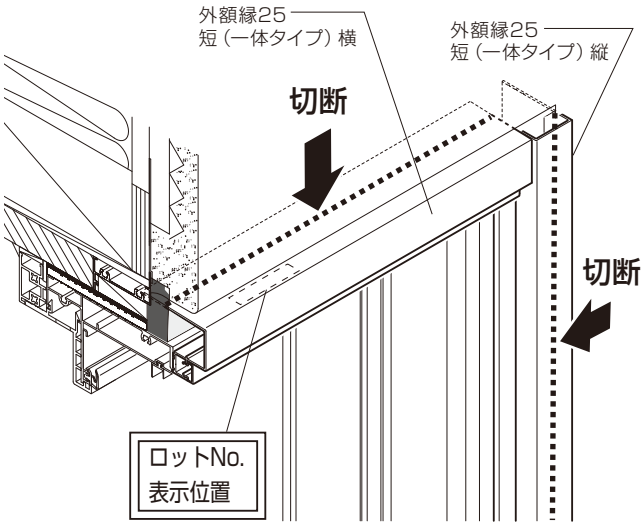
＜ ＞内寸法は外額縁 50短（一体タイプ）を示します。

■切断方法

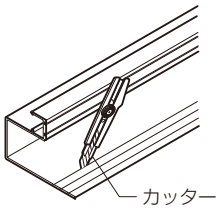
切断上のお願い
●無理に折り曲げたり、部分的に１度で折り曲げないでください。ひずみが発生することがあります。折り曲げがかたい場合はもう一度カッターなどで溝を深く切込みなおしてください。 ●サンダーなど、熱を発する刃物で切断しないでください。アルミ表面が焼けることがあります。

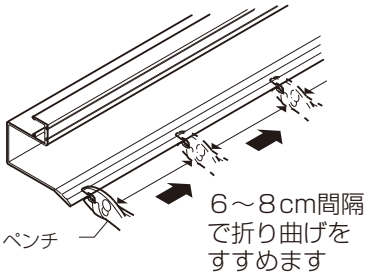
■カッター・ペンチを使用する場合

①外額縁の裏面にある溝から、納まりに合う位置の溝にカッター（プラスチックカッターなど）で部材全長に溝を切込みます。この時アルミ形材の厚みを６割以上切込んでください。

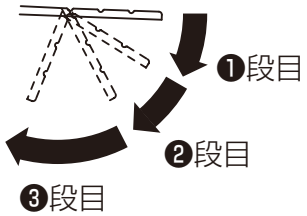


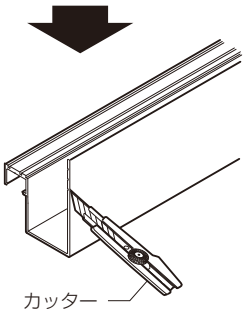
②ペンチ（モンキーレンチなど）で下図のように３段階の角度にわけて折り曲げます。
❶段目の角度まで部材の端から端まで折り曲げます。同じように❷段目の角度まで部材の端から端まで折り曲げてから、❸段目まで折り曲げて切離します。





３段階の角度にわけて部材の端から端まで
折り曲げます





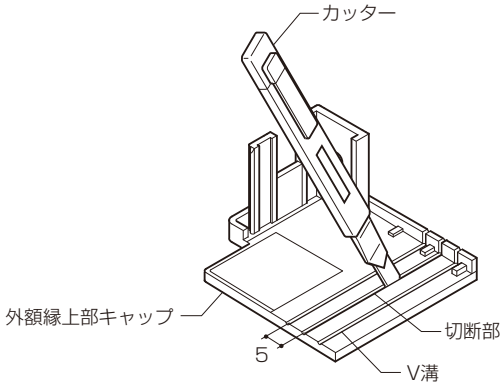
■丸ノコを使用する場合

納まりに合う位置に印を付け、丸ノコで切断します。

■外額縁キャップの切断

納まりに合わせて切詰めた外額縁と同じ位置にくるV溝に、カッターで数回切れ目を入れ、カットしてください。

※外額縁上部・下部キャップには、カッターで切りやすいように5mm間隔でV溝が入っています。納まりに合うようにカットしてください。



■外額縁の取付け

①外額縁(横)の調整溝に枠の凸部を差込み、ⓐなべドリルねじで枠に取付けます。

②溝フタ(横)を外額縁(横)に取付けます。

※溝フタは、完全にはめ込んだことを確認してください。

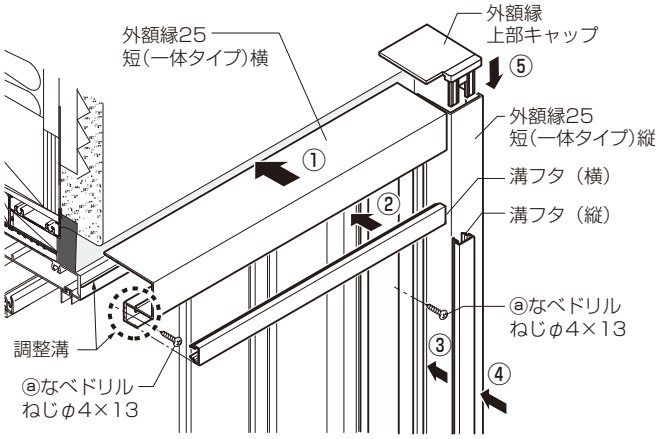
③外額縁(縦)の調整溝に枠の凸部を差込み、ⓐなべドリルねじで枠に取付けます。(A図)

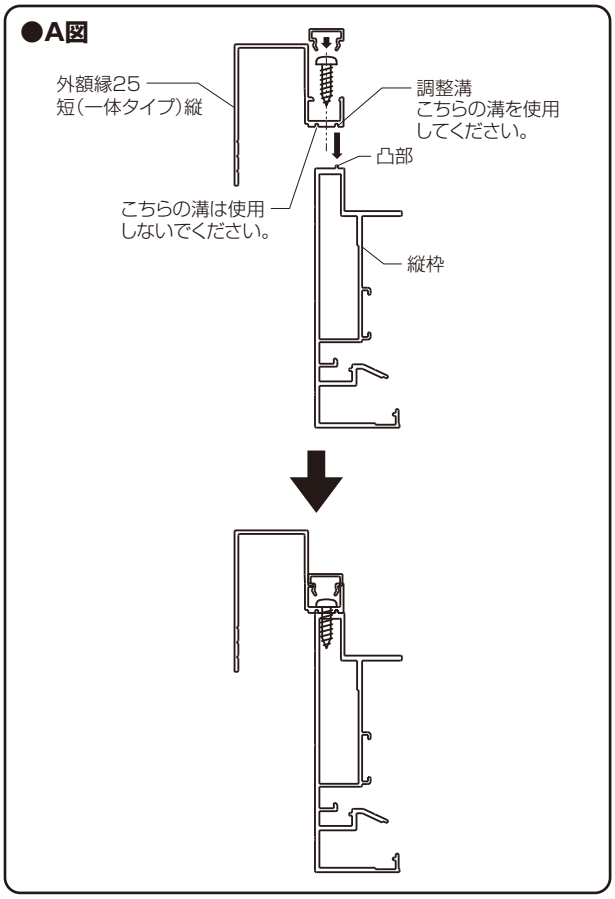
④溝フタ(縦)を外額縁(縦)に取付けます。

※溝フタは、完全にはめ込んだことを確認してください。

⑤裏面の両面テープをはがして、外額縁上部キャップを外額縁(縦)の上部に取付けてください。

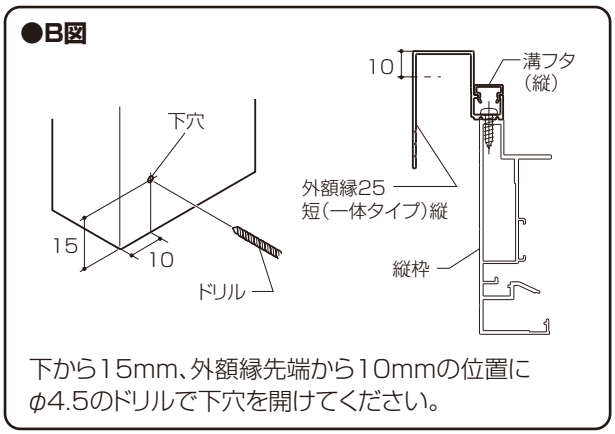
※外額縁(縦)と外額縁(横)の間にすき間がある場合は、位置を調整し、外額縁(横)を室外側に起こしながら、額縁上部キャップを張付けてください。

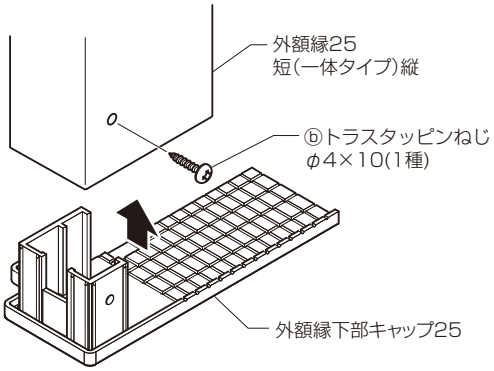




■外額縁下部キャップの取付け

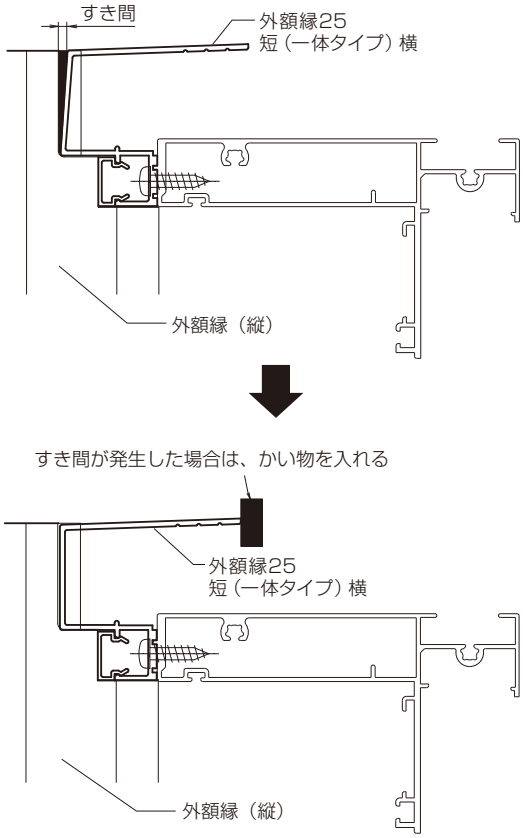
①外額縁(縦)の外側面の下部にφ4.5のドリルで下穴を開けます。(B図)
外額縁下部キャップをⓑトラスタッピンねじ(1種)で取付けます。





■すき間発生時の対応

外額縁取付け時、現場の状況により外額縁(縦)の加工部にすき間があくことがあります。
すき間発生時は、外額縁(横)の後ろにかい物を入れて外額縁(横)をおこしてください。
※外周部のシーリング処理前に実施してください。

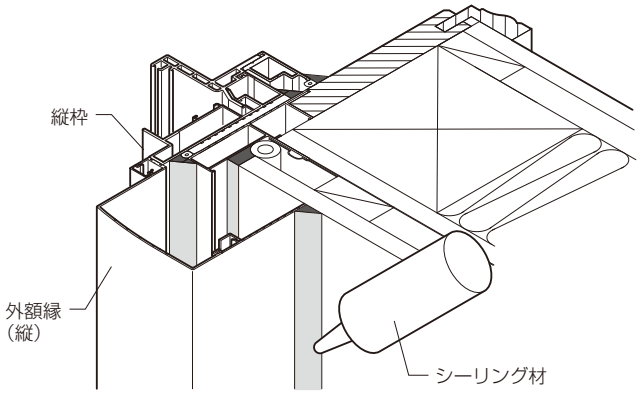


■外周部のシーリング処理

⚠注　意

●外壁工事を伴わない取付けの場合は、指定の箇所にシーリング材を充てんしてください。漏水の原因となります。

雨仕舞いのため、外周部にシーリング材を充てんします。
※外額縁下部については、全面シーリングをせずに、両端部から水が抜けるようすき間を確保してください。



外額縁　25・50・75長（分割タイプ）の取付け（三方額縁の場合）

※三方額縁は25・50短（一体タイプ）、25・50・75長（分割タイプ）の5種類があります。現場の納まりに合わせて部材を選択し、取付けてください。
※取付けの図はすべて外額縁75長（分割タイプ）で説明しています。
※外額縁は本体を吊込んだ後に取付けてください。順序を間違えると取付けができなくなります。

■使用ねじ・部品・部材一覧

■使用ねじ一覧

ⓐ	ⓑ
外額縁取付け用	外額縁下部キャップ取付け用
なべドリルねじ φ4×13	トラスタッピンねじ φ4×10（1種）

■部品一覧

ⓒ	ⓓ
外額縁上部キャップ （外額縁25用）	外額縁下部キャップ （外額縁25用）
ⓔ	ⓕ
外額縁上部キャップ （外額縁 50用）	外額縁下部キャップ （外額縁 50用）
ⓖ	ⓗ
外額縁上部キャップ （外額縁 75用）	外額縁下部キャップ （外額縁 75用）

■部材一覧

外額縁25 長 （分割タイプ）	外額縁50 長 （分割タイプ）	外額縁75 長 （分割タイプ）
外額縁フタ（横） 外額縁（横） 溝フタ（横） 外額縁（縦） 溝フタ（縦） 外額縁フタ（縦）	外額縁フタ（横） 外額縁（横） 溝フタ（横） 外額縁（縦） 溝フタ（縦） 外額縁フタ（縦）	外額縁フタ（横） 外額縁（横） 溝フタ（横） 外額縁（縦） 溝フタ（縦） 外額縁フタ（縦）

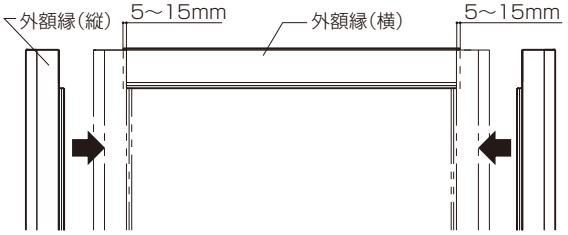
■切詰め加工

①外額縁（横）、溝フタ（横）、外額縁フタ（横）の切断寸法は、下表の切断寸法計算式より算出して切詰めてください。
②外壁の納まりに合わせて、外額縁を必要に応じて切断します。
※外額縁フタを外額縁にかん合させた状態で納まりを確認してください。

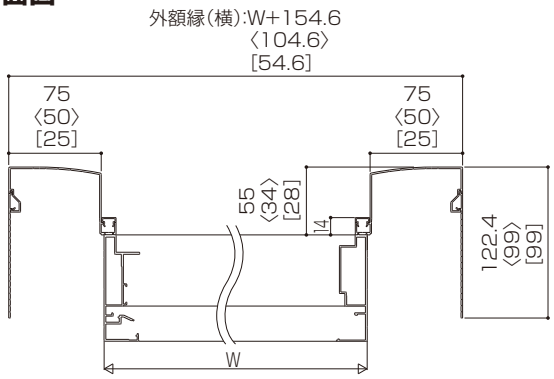
■切詰寸法計算式

部材名	切断寸法計算式
外額縁25・50・75長（分割タイプ）横	W+20
溝フタ	W+20
外額縁フタ	W+20

※外額縁（縦）、溝フタ（縦）、外額縁フタ（縦）は、現場の納まりに合わせて切詰めてください。

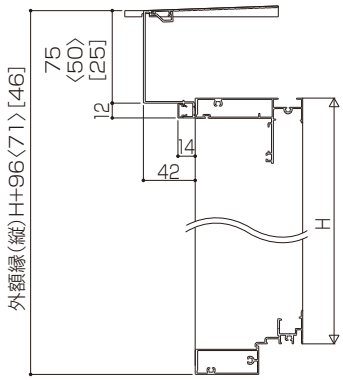


●横断面図



〈　〉内寸法は外額縁50長（分割タイプ）を示します。
［　］内寸法は外額縁25長（分割タイプ）を示します。

●縦断面図



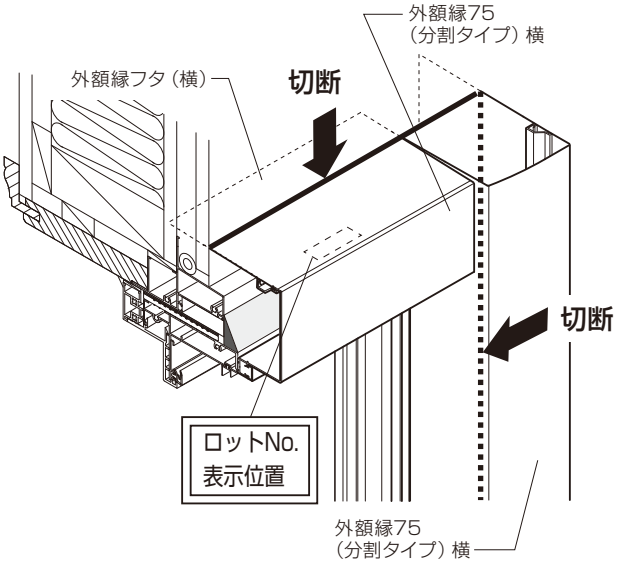
〈　〉内寸法は外額縁50長（分割タイプ）を示します。
［　］内寸法は外額縁25長（分割タイプ）を示します。

■切断方法

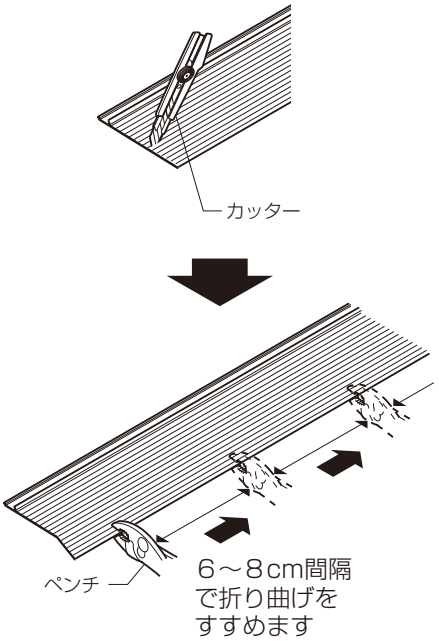
切断上のお願い
●無理に折り曲げたり、部分的に１度で折り曲げないでください。ひずみが発生することがあります。折り曲げがかたい場合はもう一度カッターなどで溝を深く切込みなおしてください。 ●サンダーなど、熱を発する刃物で切断しないでください。アルミ表面が焼けることがあります。

■カッター・ペンチを使用する場合

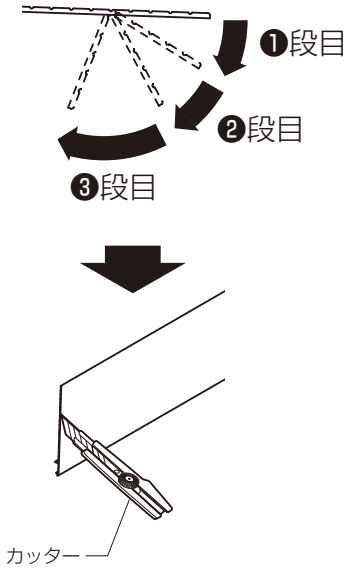
①外額縁の裏面にある溝から、納まりに合う位置の溝にカッター（プラスチックカッターなど）で部材全長に溝を切込みます。この時アルミ形材の厚みを６割以上切込んでください。



②ペンチ（モンキーレンチなど）で下図のように３段階の角度にわけて折り曲げます。
❶段目の角度まで部材の端から端まで折り曲げます。 同じように❷段目の角度まで部材の端から端まで折り曲げてから、❸段目まで折り曲げて切離します。



３段階の角度にわけて部材の端から端まで
折り曲げます

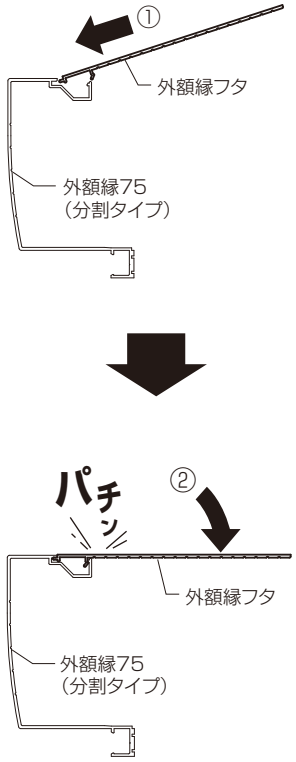


■丸ノコを使用する場合

納まりに合う位置に印を付け、丸ノコで切断します。

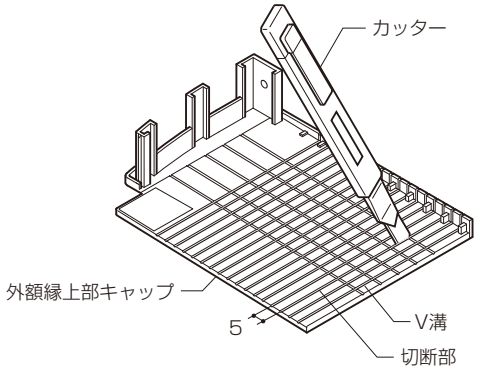
■外額縁と外額縁フタのかん合

①外額縁フタの先端を外額縁の溝に突き当てます。
②外額縁フタのツメが、外額縁にパチンとかん合するまで押し下げます。
※かん合は、切断後に端部から行ってください。



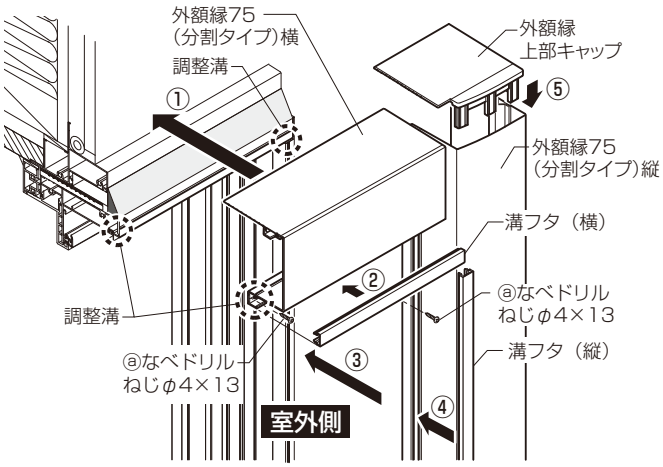
■外額縁キャップの切断

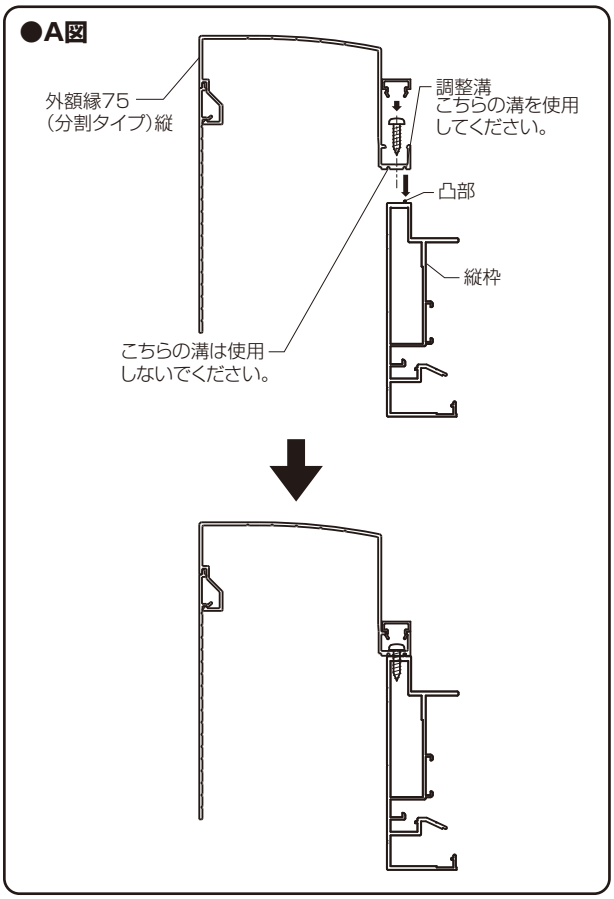
納まりに合わせて切詰めた外額縁と同じ位置にくるV溝に、カッターで数回切れ目を入れ、カットしてください。
※外額縁上部・下部キャップには、カッターで切りやすいように5mm間隔でV溝が入っています。納まりに合うようにカットしてください。



■外額縁の取付け

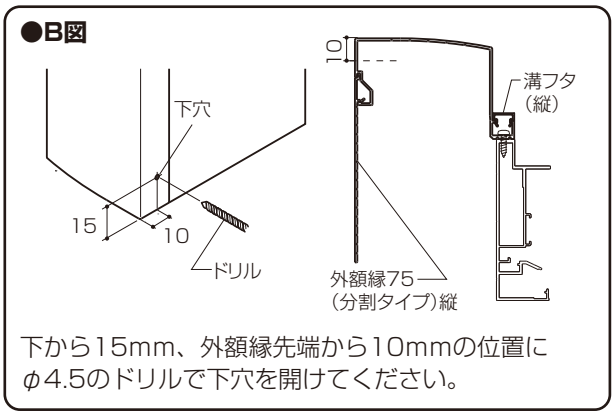
①外額縁(横)を調整溝に差込み、ⓐなべドリルねじで枠に取付けます。
②溝フタ(横)を外額縁(横)に取付けます。
※溝フタは、完全にはめ込んだことを確認してください。
③外額縁(縦)を調整溝に差込み、ⓐなべドリルねじで枠に取付けます。(A図)
④溝フタ(縦)を外額縁(縦)に取付けます。
※溝フタは、完全にはめ込んだことを確認してください。
⑤裏面の両面テープをはがして、外額縁上部キャップを外額縁(縦)の上部に取付けてください。
※外額縁(縦)と外額縁(横)の間にすき間がある場合は、位置を調整し、外額縁(横)を室外側に起こしながら、外額縁キャップを張付けてください。

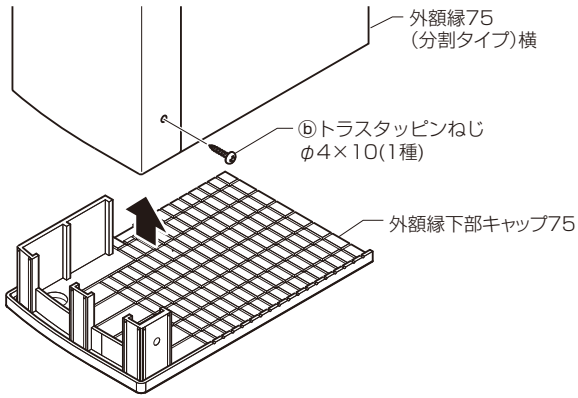




■外額縁下部キャップの取付け

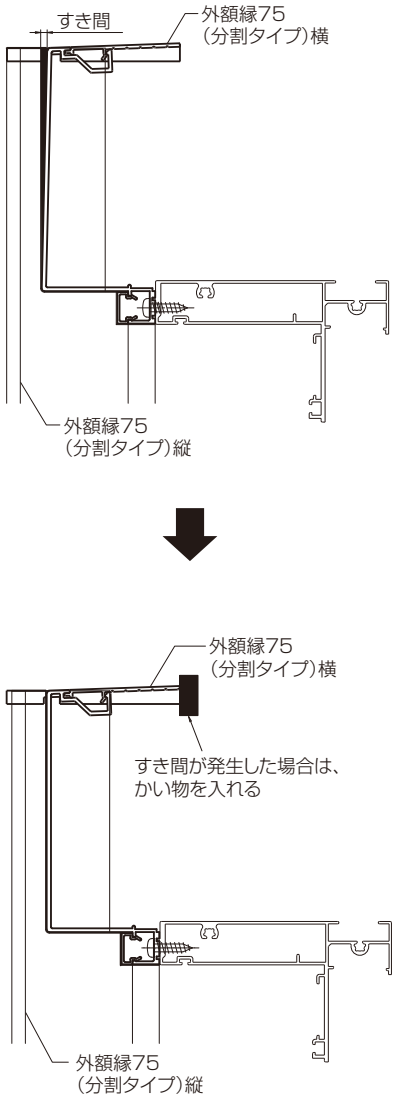
①外額縁(縦)の外側面の下部にφ4.5のドリルで下穴を開けます。(B図)
額縁下部キャップをⓑトラスタッピンねじ(1種)で取付けます。





■すき間発生時の対応

外額縁取付け時、現場の状況により外額縁(縦)の加工部にすき間があくことがあります。
すき間発生時は、外額縁(横)の後ろにかい物を入れて外額縁(横)をおこしてください。



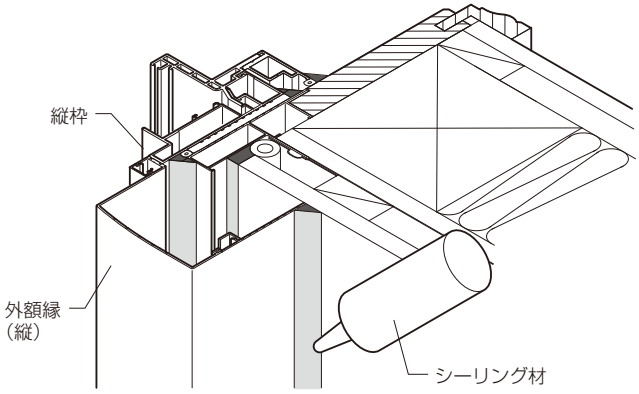
※外周部のシーリング処理前に実施してください。

■外周部のシーリング処理

⚠注　意

●外壁工事を伴わない取付けの場合は、指定の箇所にシーリング材を充てんしてください。漏水の原因となります。

雨仕舞いのため、外周部にシーリング材を充てんします。
※外額縁下部については、全面シーリングをせずに、両端部から水が抜けるようすき間を確保してください。



外額縁　25・50長（分割タイプ）の取付け（四方額縁の場合）

※四方額縁 25・50長（分割タイプ）の２種類があります。現場の納まりに合わせて部材を選択し、取付けてください。
※取付けの図はすべて外額縁50長（分割タイプ）で説明しています。
※外額縁は本体を吊込んだ後に取付けてください。順序を間違えると取付けができなくなります。

■使用ねじ・部品・部材一覧

■使用ねじ一覧

ⓐ	ⓑ
外額縁取付け用	外額縁下部キャップ取付け用
なべドリルねじ φ4×13	トラスタッピンねじ φ4×10（1種）

■部品一覧

ⓒ	ⓓ
外額縁上部・下部キャップ （外額縁25用）	外額縁上部・下部キャップ （外額縁 50用）

■部材一覧

外額縁25長（分割タイプ）	外額縁50長（分割タイプ）
外額縁フタ（横） 外額縁（横） 溝フタ（横） 外額縁（縦） 溝フタ（縦） 外額縁フタ（縦）	外額縁フタ（横） 外額縁（横） 溝フタ（横） 外額縁（縦） 溝フタ（縦） 外額縁フタ（縦）

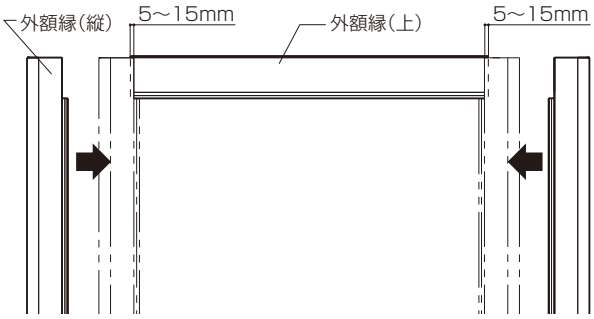
■切詰め加工

外額縁（上・下）、溝フタ（上・下）、外額縁フタ（上・下）の切断寸法は、下表の切断寸法計算式より算出して切詰めてください。

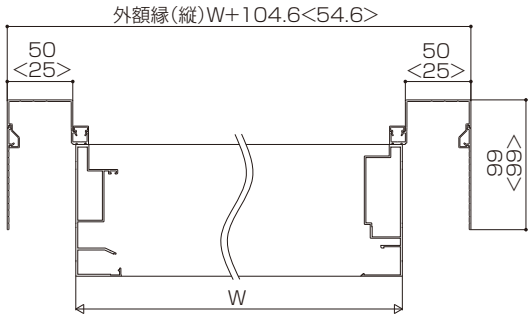
■切詰寸法計算式

部材名	切断寸法計算式
外額縁25・50長（分割タイプ）（上・下）	W+20
溝フタ（上）	W+20
溝フタ（下）	W+2.5
外額縁フタ（上・下）	W+20

※溝フタは上下で寸法が異なります。
※外額縁（縦）、溝フタ（縦）、外額縁フタ（縦）は、現場の納まりに合わせて切詰めてください。

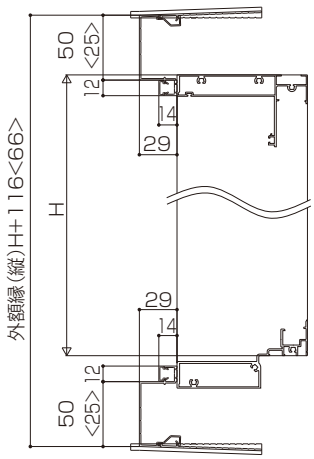


●横断面図



＜ ＞内寸法は外額縁 25長（分割タイプ）を示します。

●縦断面図



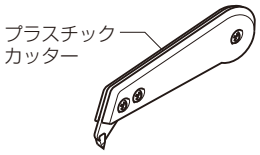
＜ ＞内寸法は外額縁 25長（分割タイプ）を示します。

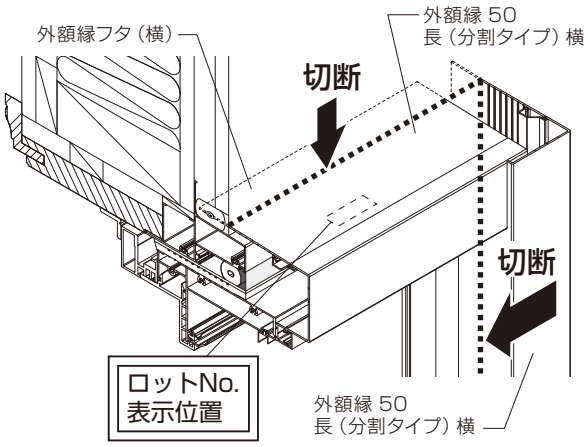
■切断方法

切断上のお願い
●無理に折り曲げたり、部分的に１度で折り曲げないでください。ひずみが発生することがあります。折り曲げがかたい場合はもう一度カッターなどで溝を深く切込みなおしてください。 ●サンダーなど、熱を発する刃物で切断しないでください。アルミ表面が焼けることがあります。

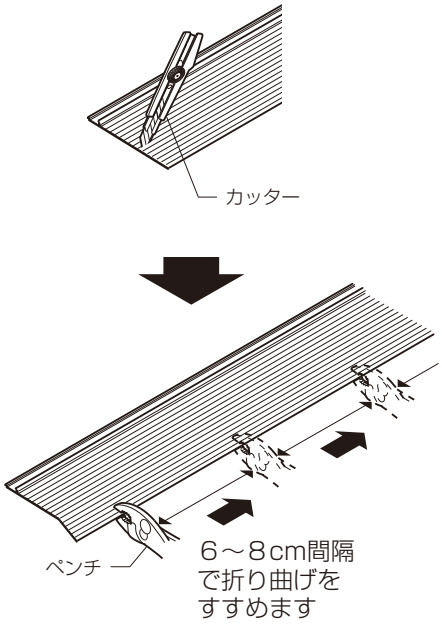
■カッター・ペンチを使用する場合

①外額縁の裏面にある溝から、納まりに合う位置の溝にカッター（プラスチックカッターなど）で部材全長に溝を切込みます。この時アルミ形材の厚みを６割以上切込んでください。

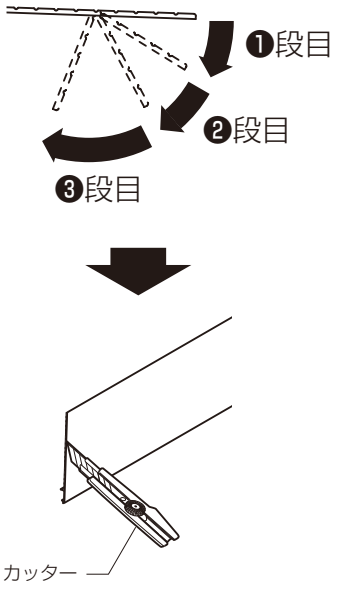




②ペンチ（モンキーレンチなど）で下図のように３段階の角度にわけて折り曲げます。
❶段目の角度まで部材の端から端まで折り曲げます。
同じように❷段目の角度まで部材の端から端まで折り曲げてから、❸段目まで折り曲げて切離します。



３段階の角度にわけて部材の端から端まで
折り曲げます

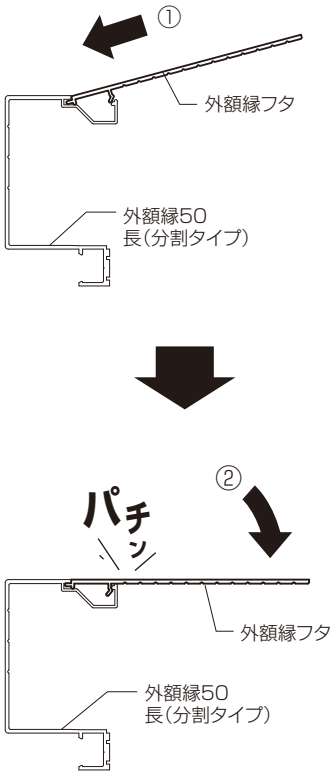


■丸ノコを使用する場合

納まりに合う位置に印を付け、丸ノコで切断します。

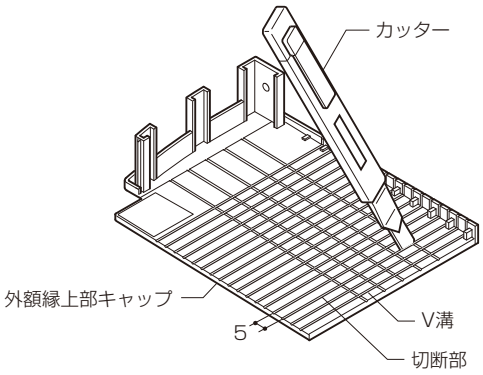
■外額縁と外額縁フタのかん合

①外額縁フタの先端を外額縁の溝に突き当てます。
②外額縁フタのツメが、外額縁にパチンとかん合するまで押し下げます。
※かん合は、切断後に端部から行ってください。



■外額縁キャップの切断

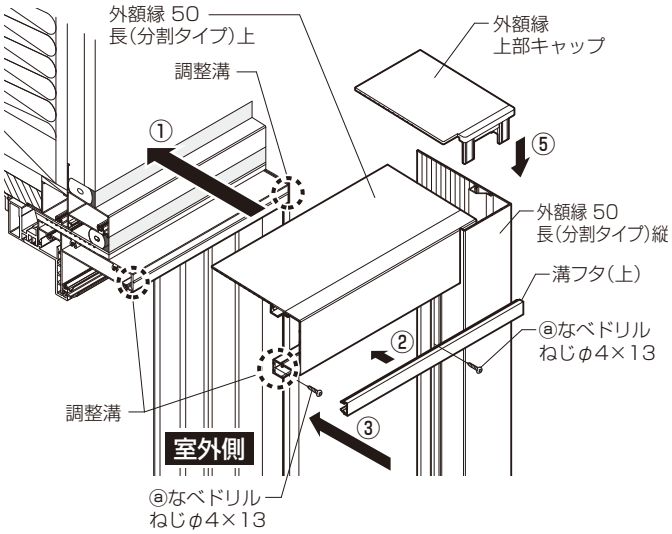
納まりに合わせて切詰めた外額縁と同じ位置にくるV溝に、カッターで数回切れ目を入れ、カットしてください。
※外額縁上部・下部キャップには、カッターで切りやすいように5mm間隔でV溝が入っています。納まりに合うようにカットしてください。

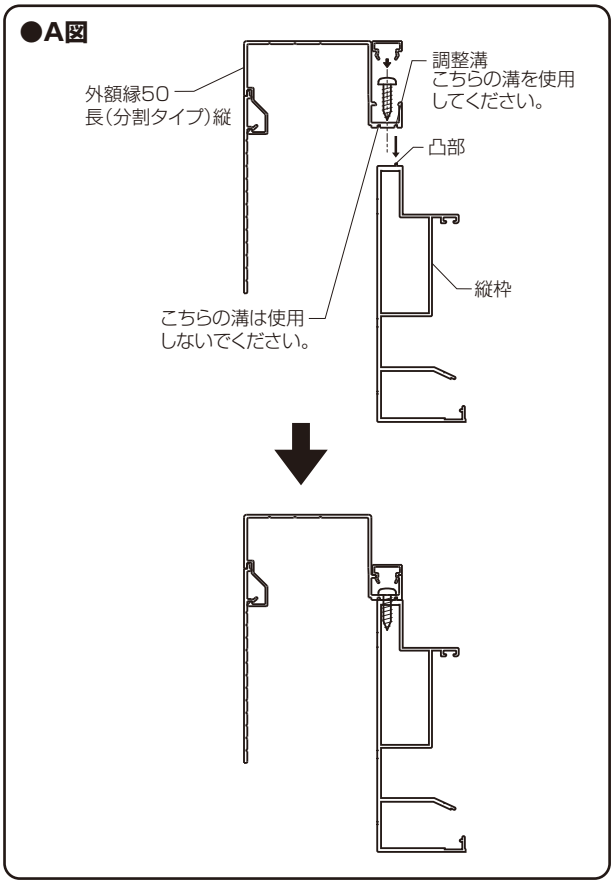


■外額縁の取付け

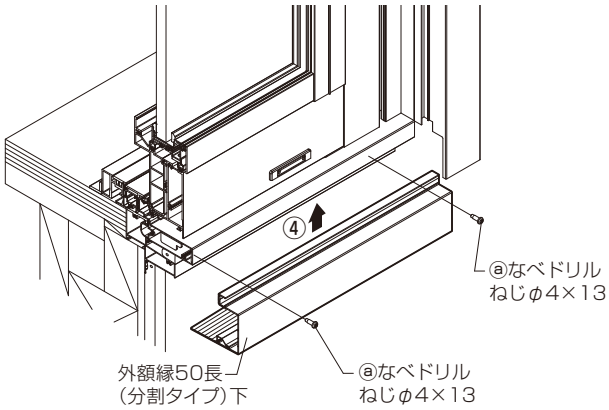
取付け上のお願い
●溝フタは上下で寸法が異なるため、取付け前に寸法を確認し正しく取付けてください。

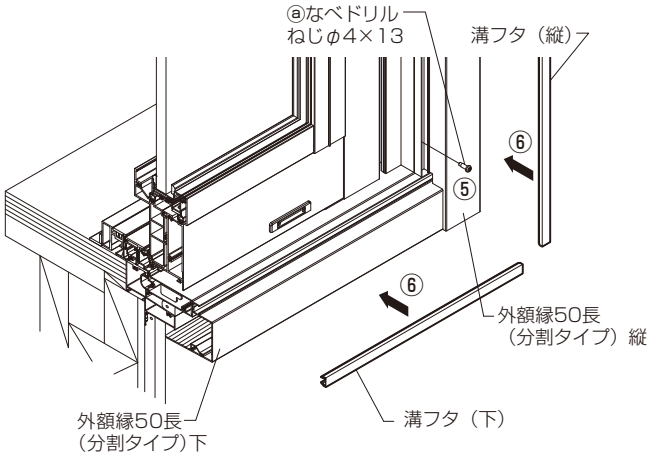
①外額縁(上)を調整溝に差込み、ⓐなべドリルねじで枠に取付けます。
②溝フタ(上)を外額縁(上)に取付けます。
※溝フタは、完全にはめ込んだことを確認してください。
③外額縁(縦)を調整溝に差込み、上から3カ所をⓐなべドリルねじで枠に取付けます。(A図)
※全部固定すると外額縁(下)取付け時にスライド挿入しにくくなります。
※反対側の縦も同様に行います。





④外額縁(下)を左右均等になるように外額縁(縦)に下から差込み突き当てて位置決めしてⓐなべドリルねじで固定します。
⑤外額縁(縦)の残りの固定していなかった箇所すべてⓐなべドリルねじで固定します。
⑥両側縦と下の溝フタを取付けます。
※溝フタは、完全にはめ込んだことを確認してください。
※溝フタ(下)の両側にすき間が目立つ場合はシーリング処理して埋めてください。



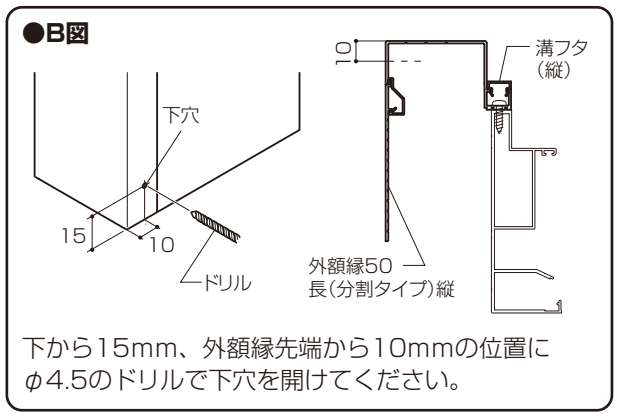


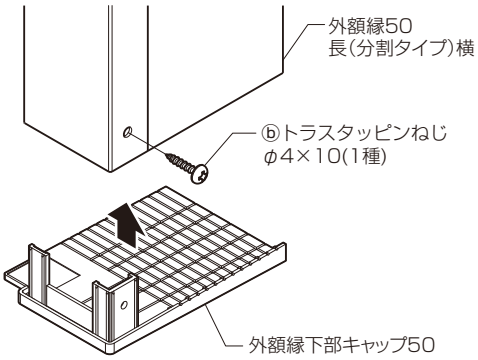
■外額縁下部キャップの取付け

①裏面の両面テープをはがして、外額縁上部キャップを外額縁(縦)の上部に取付けてください。

※外額縁(縦)と外額縁(横)の間にすき間がある場合は、位置を調整し、外額縁(横)を室外側に起こしながら、外額縁キャップを張付けてください。

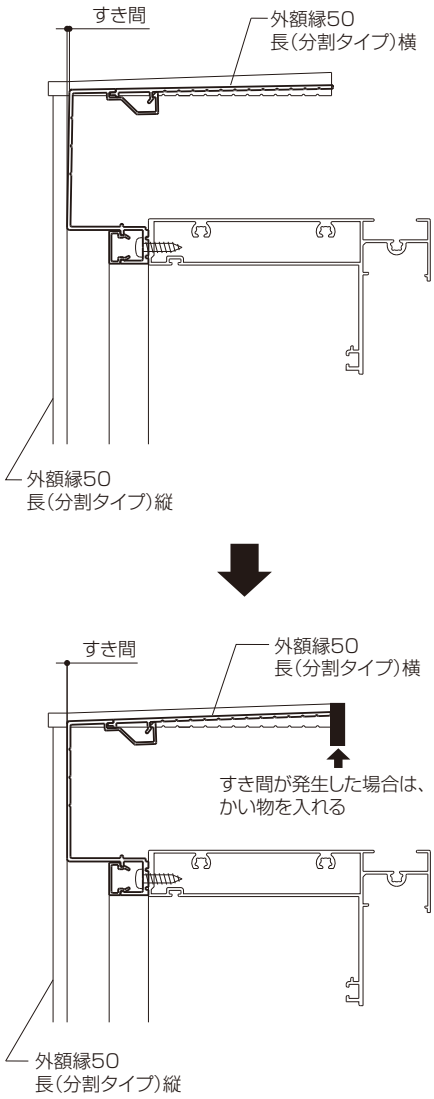
②外額縁(縦)の外側面の下部にφ4.5のドリルで下穴を開けます。(B図)
外額縁下部キャップをⓑトラスタッピンねじ(1種)で取付けます。





■すき間発生時の対応

外額縁取付け時、現場の状況により外額縁(縦)の加工部にすき間があくことがあります。
すき間発生時は、外額縁(横)の後ろにかい物を入れて外額縁(横)をおこしてください。
※外周部のシーリング処理前に実施してください。

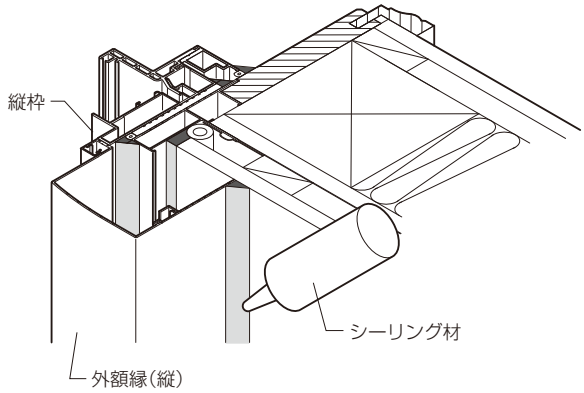


■外周部のシーリング処理

⚠注　意

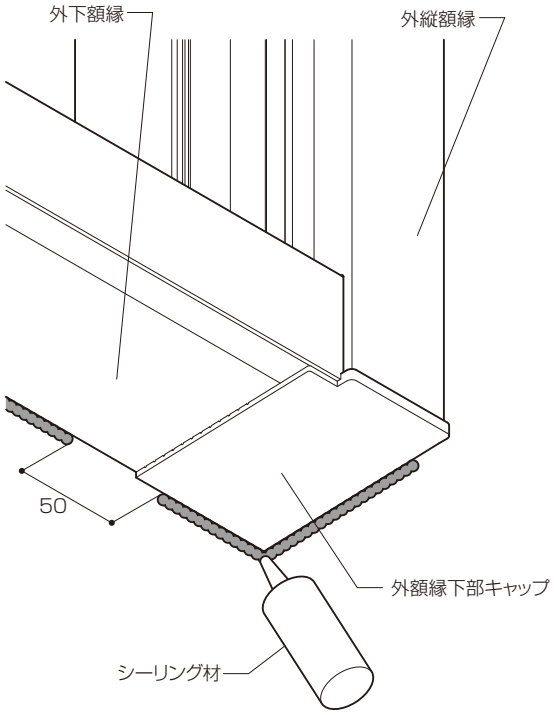
●外壁工事を伴わない取付けの場合は、指定の箇所にシーリング材を充てんしてください。漏水の原因となります。

雨仕舞いのため、外周部にシーリング材を充てんします。



■下額縁のシーリング処理

外下額縁と外額縁下部キャップの間はシーリングをせず、50mm以上のすき間空けてください。
排水経路を確保する必要があります。



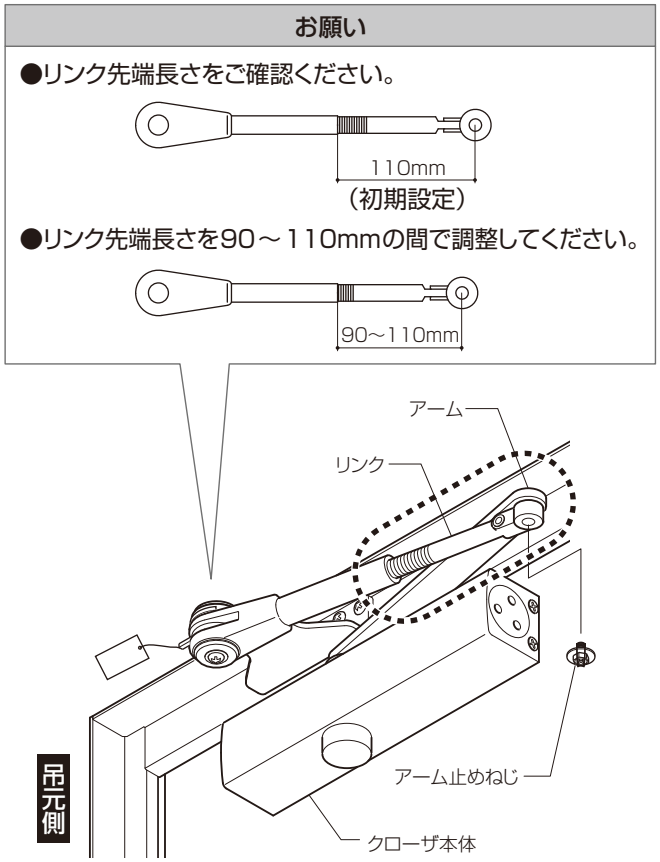
ドアクローザの取付け

ドアクローザに同梱の説明書を参照し、取付けてください。

■開閉が重い場合

W寸法が小さいときに、開閉が重いことがあります。開閉が重い場合は、リンク先端の長さを調整してください。

※リンク長さを短くした場合はラッチングアクションが効きにくくなりますが、第3速度調整ねじは左へ1回転以上回転させないでください。油もれを起こし、正常に機能しなくなるおそれがあります。



■ストップ角度の設定

ストップ角度を調整するときにドアを開き過ぎないように注意してください。

ドア本体と外額縁がぶつかり、損傷することがあります。

取付けチェックポイント集

1.現場チェック項目一覧
2.現場調査前確認事項
3.現場調査時確認事項
4.取付け現場採寸時の確認事項

1 現場チェック項目一覧

※製品を正しく取付けいただくために、下記項目を必ず確認してください。

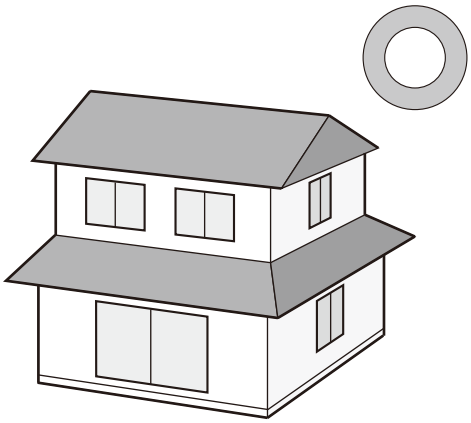
	チェック項目	チェック
事前に 電話などで 確認する項目	取付ける建物の構造は 木造ですか？	はい ・ いいえ
現場にて 確認する項目	取付ける柱への枠の 取付けねじのかかり寸法は 20mm以上ですか？	はい ・ いいえ
	取付ける柱が腐っていませんか？	はい ・ いいえ
	既設枠開口周り（外壁など）に 漏水のあとはありませんか？	はい ・ いいえ
	取付ける柱への枠の取付けねじの ねじ込みトルクは、1.2N·m （12kgf·cm）以上ですか？	はい ・ いいえ
	周辺環境（軒天、入隅納まり）に おいて、製品取付けに支障は ありませんか？	はい ・ いいえ

2 現場調査前確認事項

リシェント勝手口ドアは木造専用です。
※木造以外の躯体構造への取付けはできません。

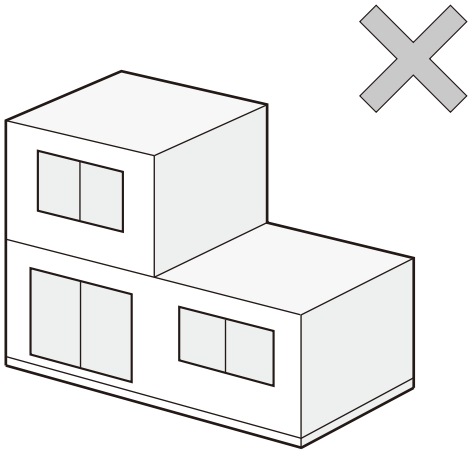
■取付け可

在来木軸工法、204構造など木造納まりに取付けてください。



■取付け不可

鉄骨造、RC造、ALC納まりなどには取付けないでください。

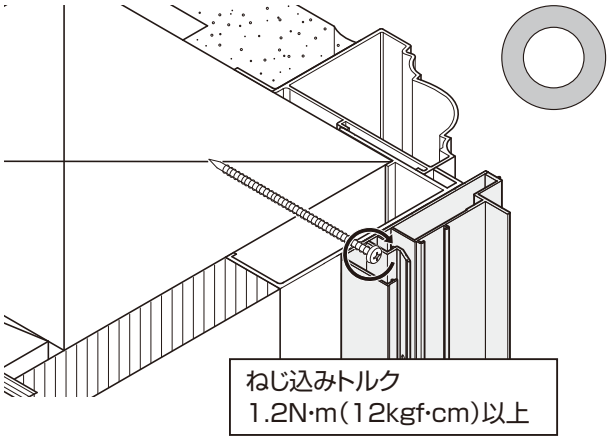


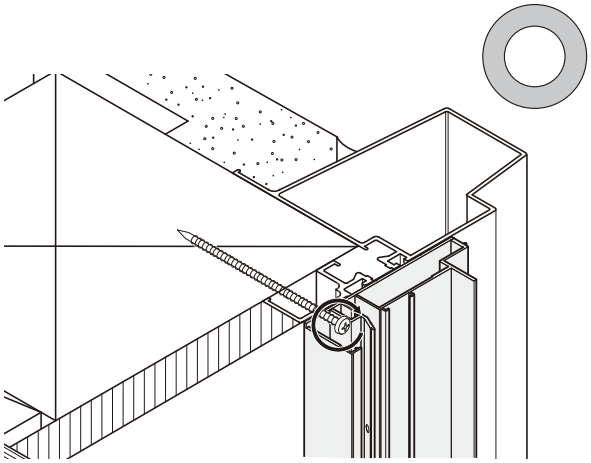
3 現場調査時確認事項

躯体取付けねじのねじ込みトルクが1.2N・m（12kgf・cm）以上あることを確認してください。

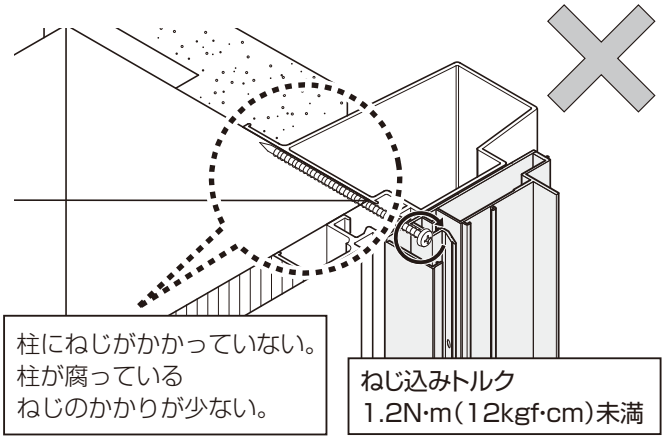
■取付け可 内付枠

指定のねじ（なべタッピンねじφ4×75）が下記の柱位置で1.2N·m（12kgf·cm）以上のねじ込みトルクがあることを確認してください。



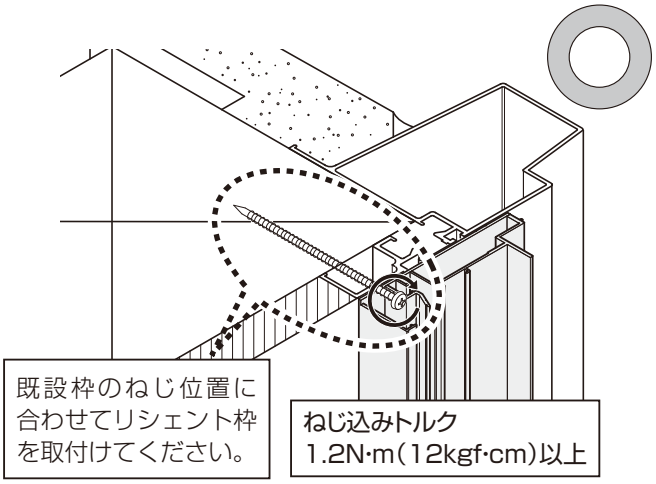


■取付け不可 半外付枠



■取付け可 半外付枠

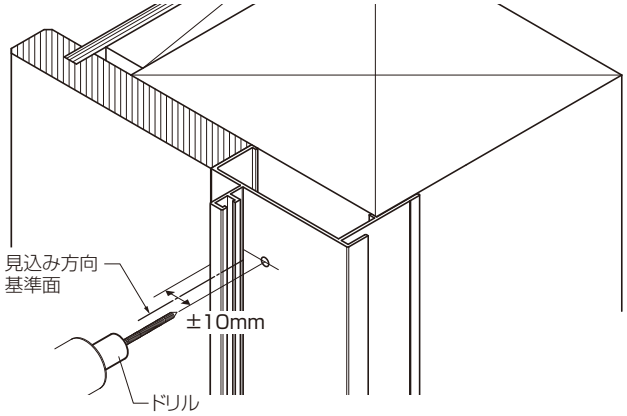
既設枠のリブを取除き、指定のねじ（なべタッピンねじφ4×75）が柱にかかっていることを確認してください。

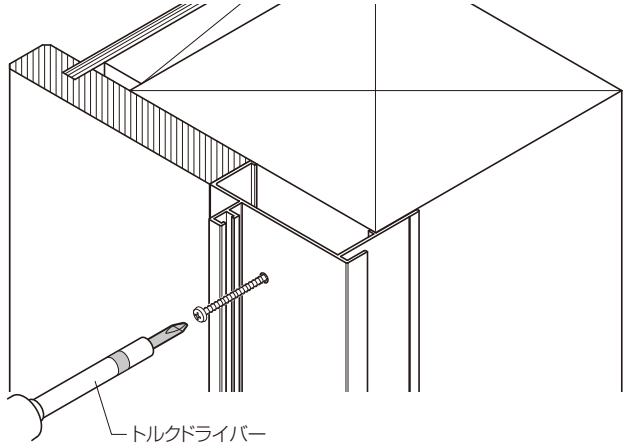


3 現場調査時確認事項（つづき）

■ねじ込みトルクの確認方法

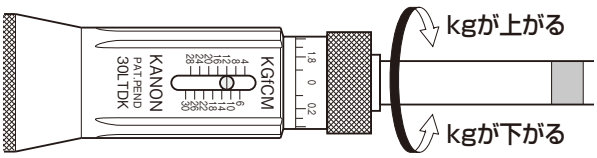
①新しい枠を取付ける際の既設枠の見込み方向基準面付近±10mmの位置にφ5の穴をあけます。
②新しい枠の取付けねじ（なべタッピンφ4×75（1種））を用いて取付けます。そのときのねじ込みトルクは、1.2N・m（12kgf・cm）以上であることを確認してください。
※確認後の穴はシーリング処理にて穴をふさいでください。



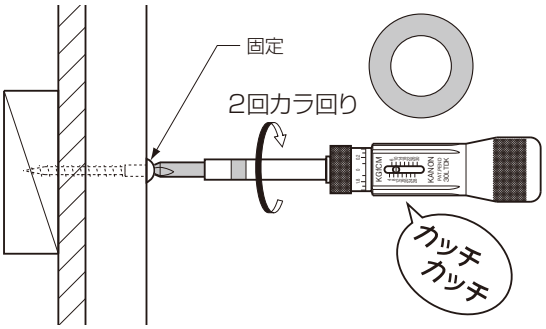


■トルクドライバー目盛合わせ

●トルクドライバー目盛り合せ設定
1.2N・m（12kgf・cm）

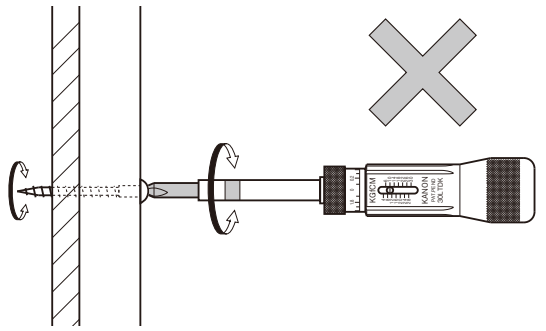


良　い



※ねじ本体は固定されている

悪　い

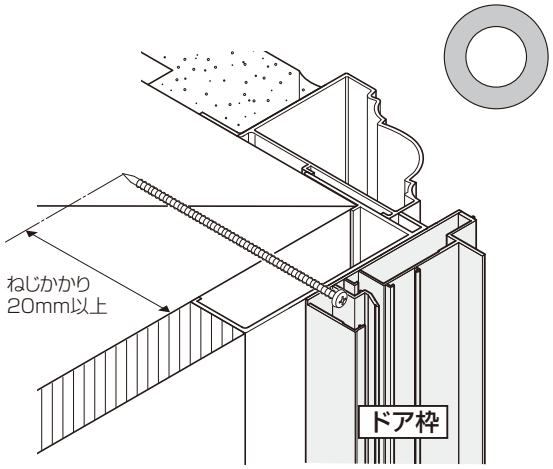


※ねじごと回転する

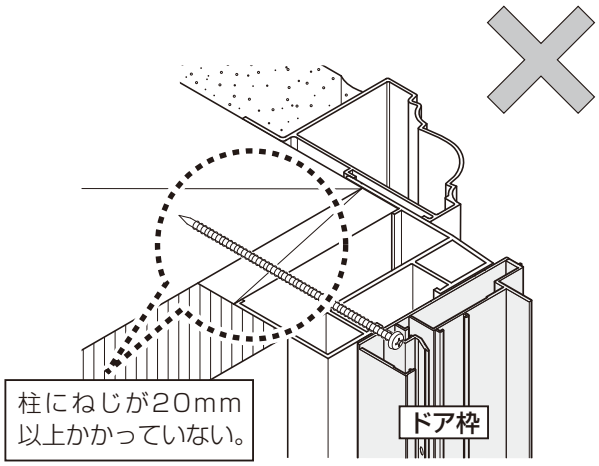
4取付け現場採寸時の確認事項

枠取付けねじは柱(躯体)に20mm以上かかることを確認してください。

■取付け可



■取付け不可

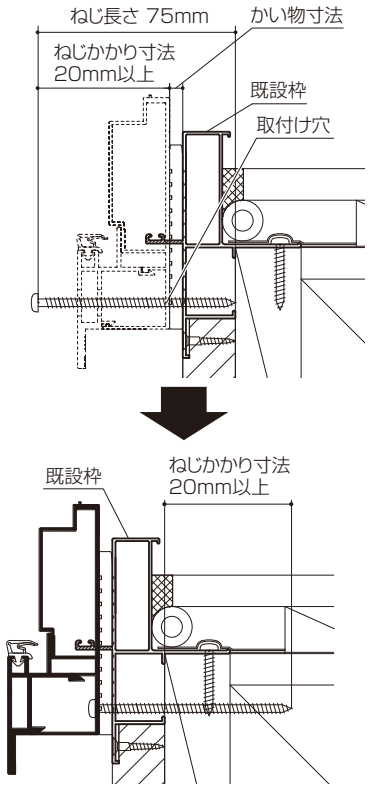


■ねじかかり寸法の確認方法

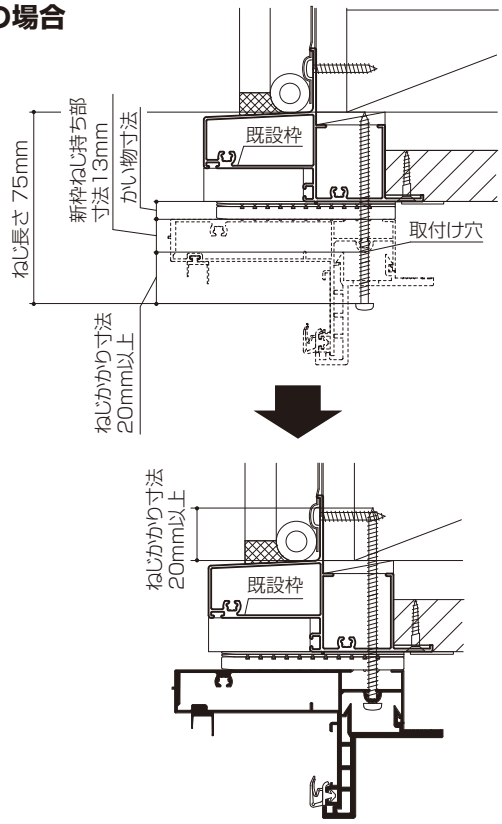
ねじ込みトルクの確認時にあけた既設枠の取付け穴にねじを入れ、取付け穴からねじ頭までの長さが20mm以上であることを確認してください。

※ねじ長さ75mm

■縦枠の場合



■上枠の場合

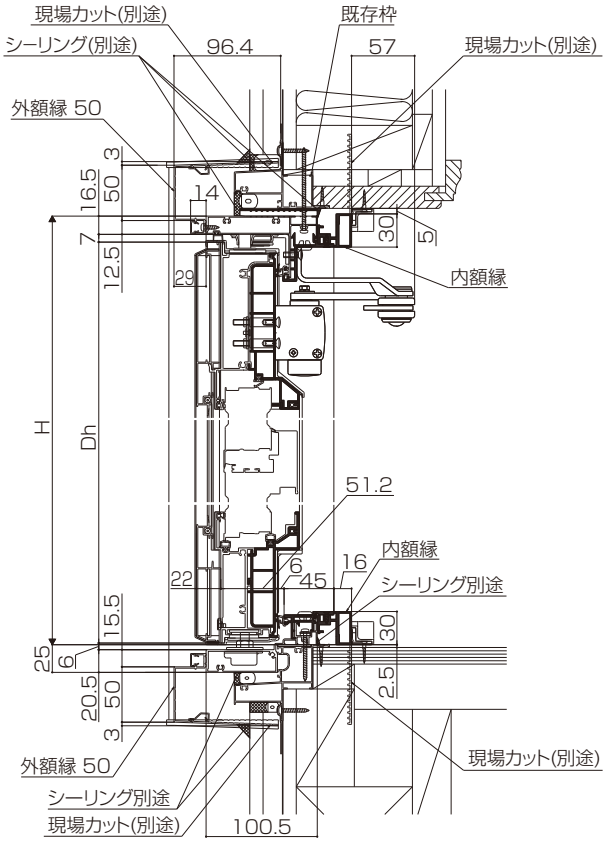


納まり参考図

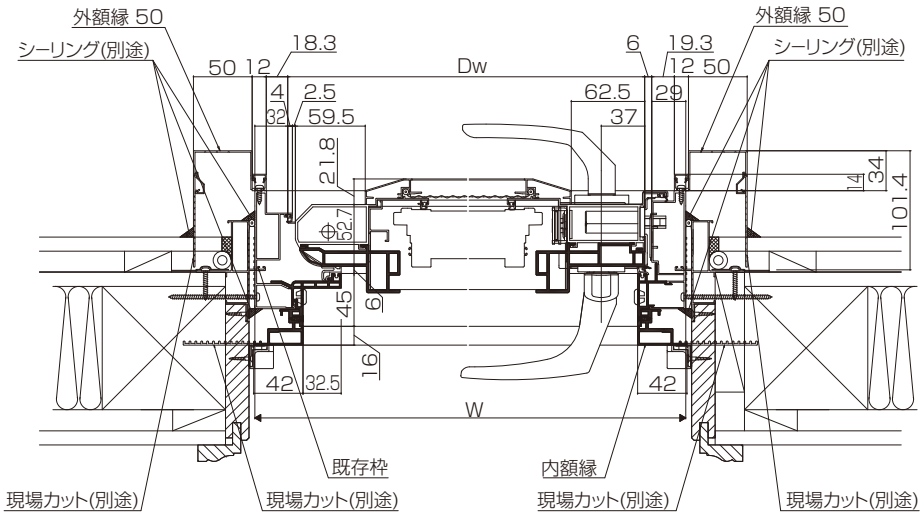
■高断熱仕様/アルミ枠納まり（フロア納まり）

既設枠：半外付型
新設ドア：高断熱仕様 採風タイプ
外額縁：50長（分割タイプ）四方額縁
内額縁：高断熱仕様 調整用100

■縦断面図



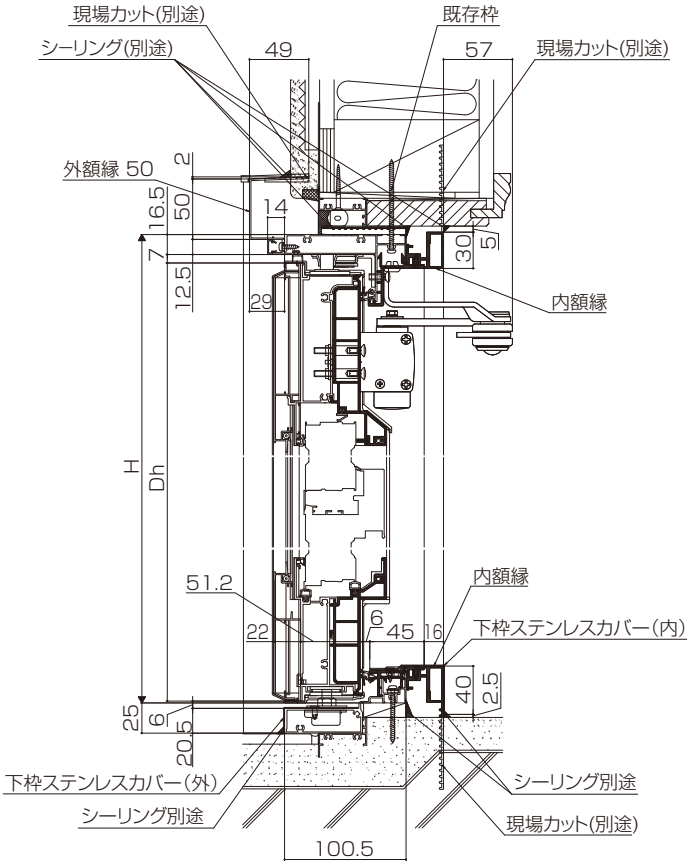
■横断面図



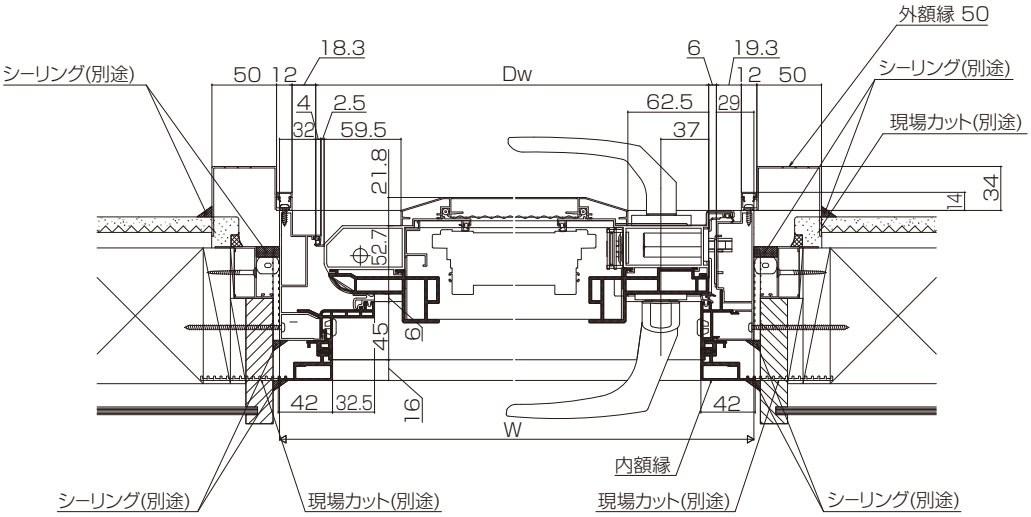
■高断熱仕様/アルミ枠納まり（土間納まり）

既設枠：内付型
新設ドア：高断熱仕様 採風タイプ
外額縁：50短（一体タイプ）
内額縁：高断熱仕様 調整用100

■縦断面図



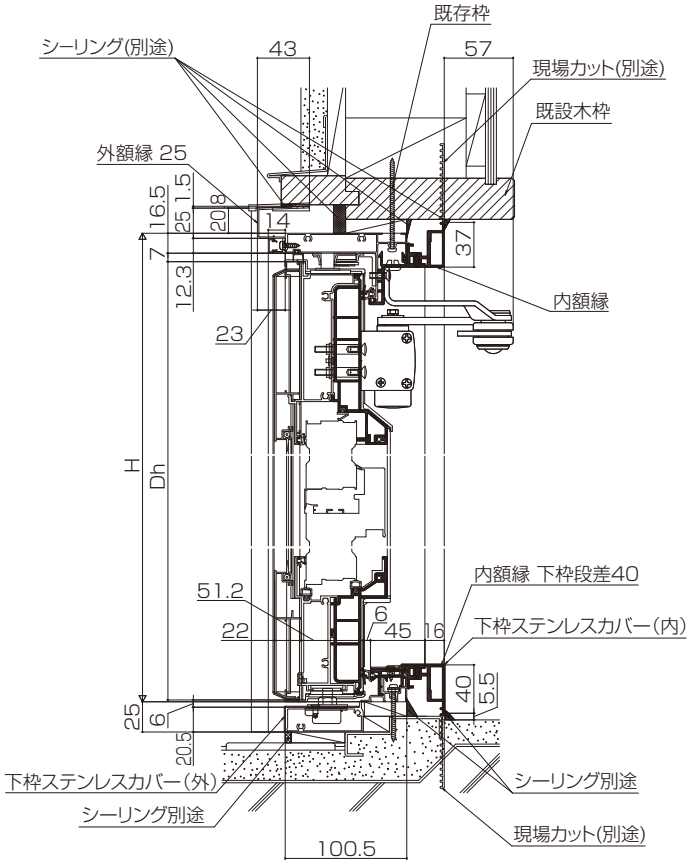
■横断面図



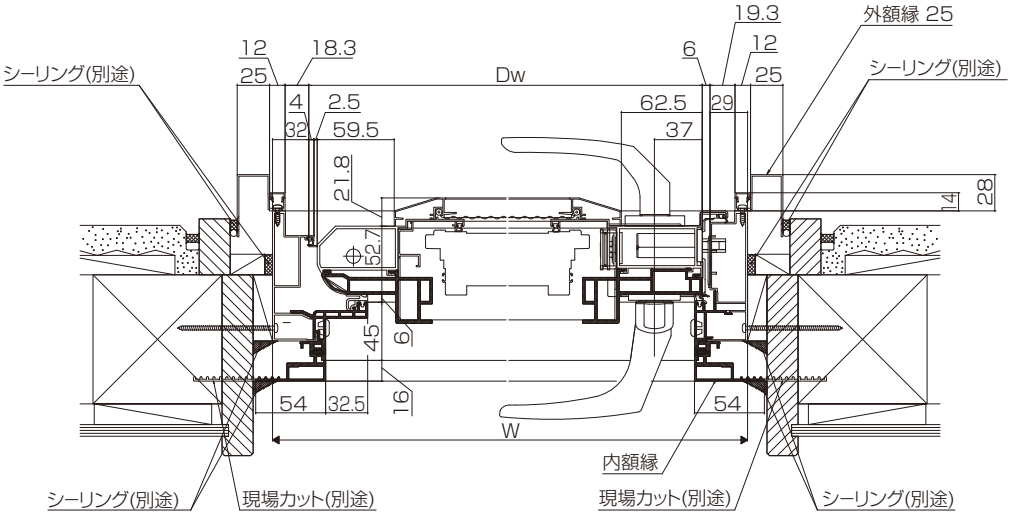
■高断熱仕様/木枠納まり

既設枠：木枠
新設ドア：高断熱仕様 採風タイプ
外額縁：25短（一体タイプ）
内額縁：高断熱仕様 調整用100

■縦断面図



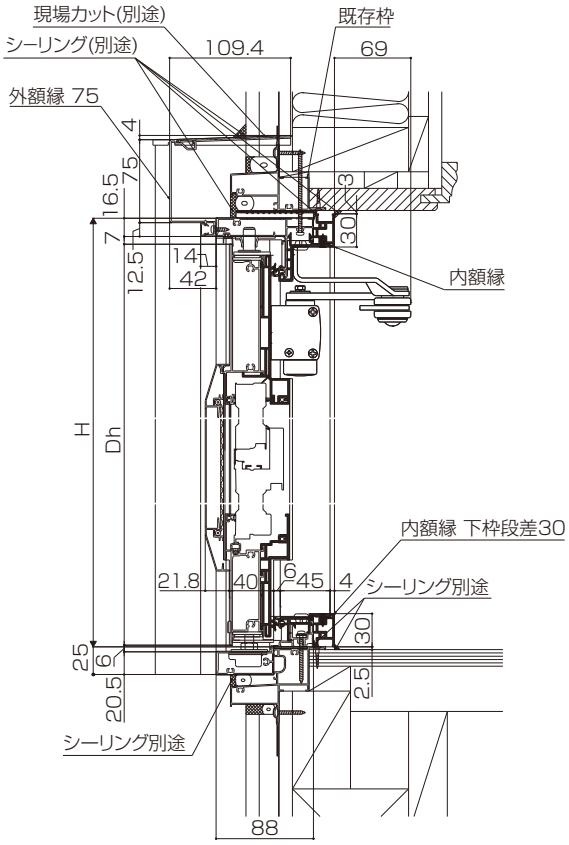
■横断面図



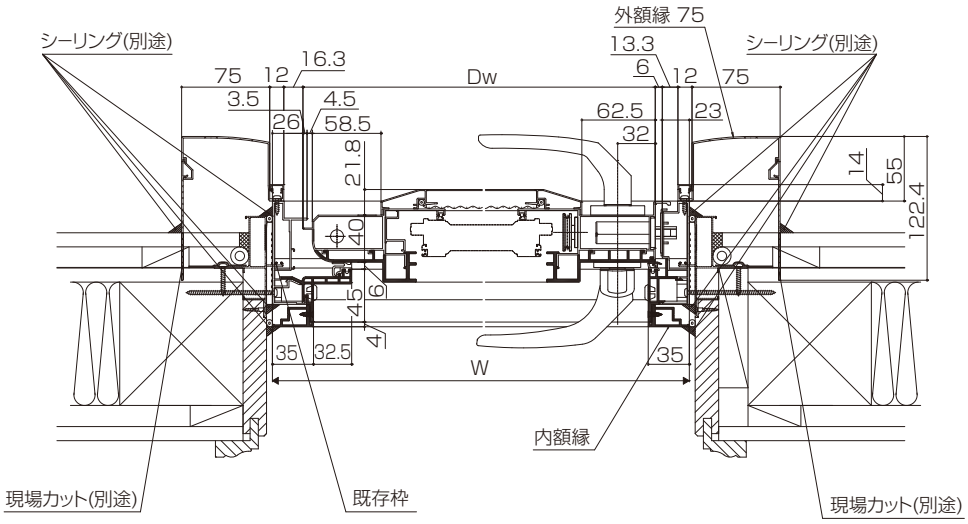
■断熱仕様/アルミ枠納まり（フロア納まり）

既設枠：半外付型
新設ドア：断熱仕様
外額縁：75長（分割タイプ）
内額縁：下枠段差30用

■縦断面図



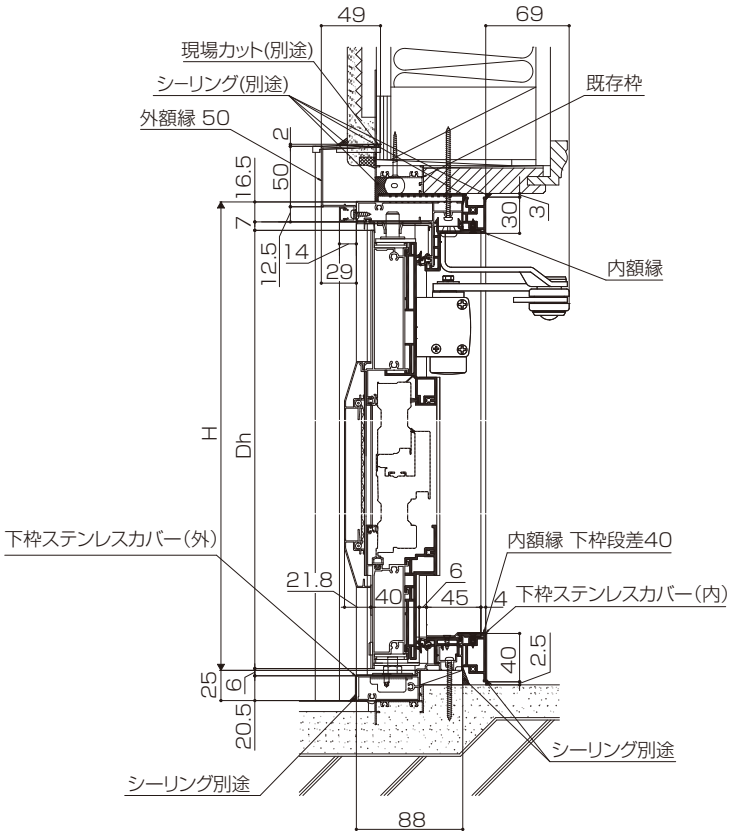
■横断面図



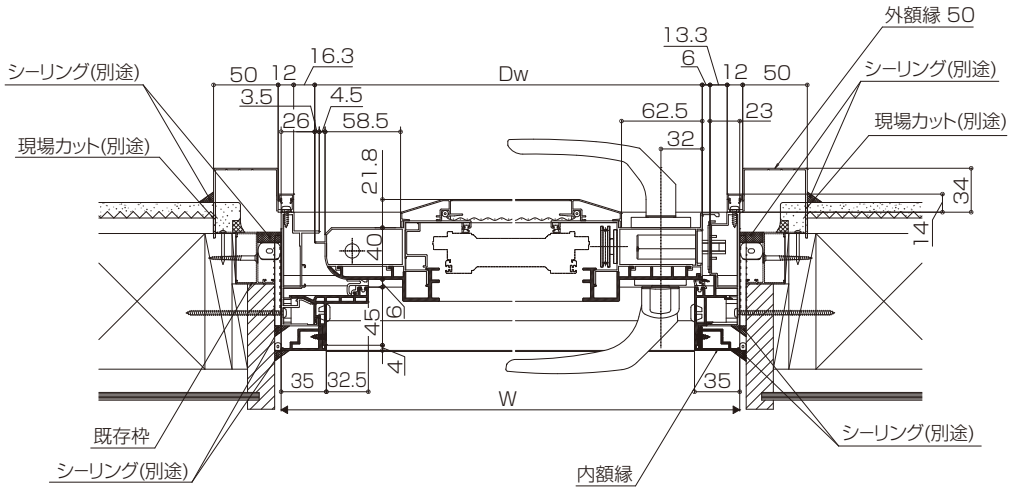
■断熱仕様/アルミ枠納まり（土間納まり）

既設枠：内付型
新設ドア：断熱仕様
外額縁：50短（一体タイプ）
内額縁：下枠段差40用

■縦断面図



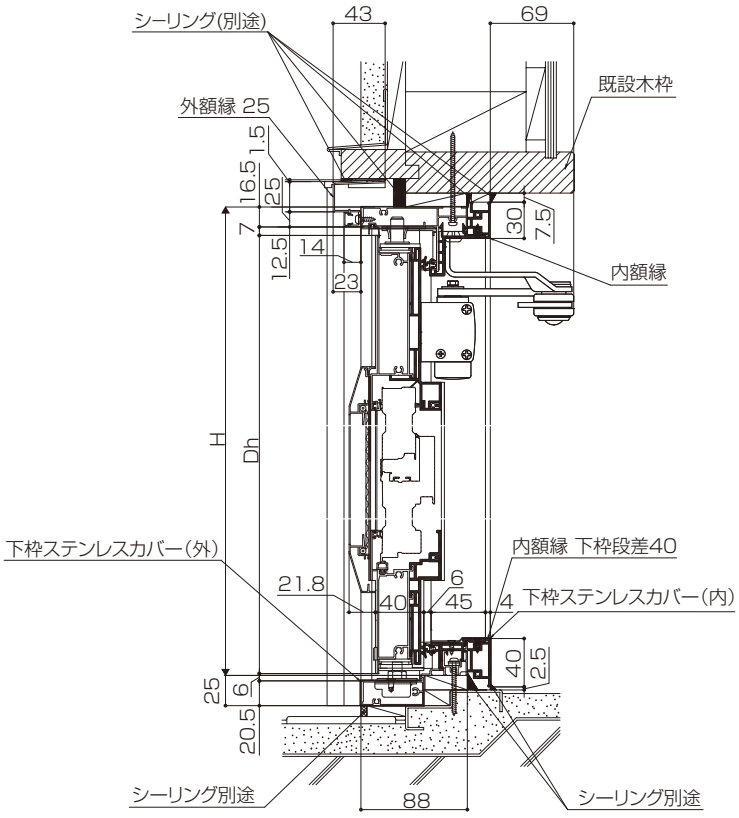
■横断面図



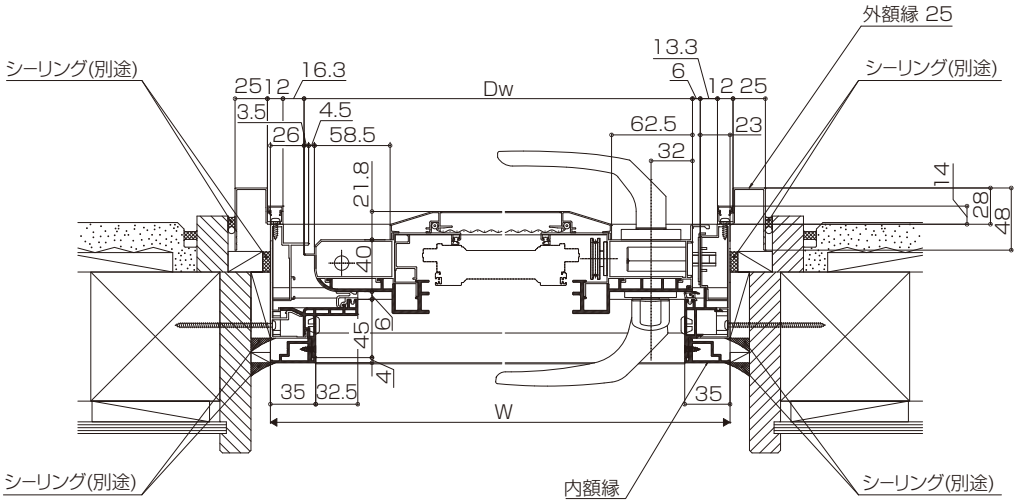
■断熱仕様/木枠納まり

既設枠：木枠
新設ドア：断熱仕様
外額縁：25短（一体タイプ）
内額縁：下枠段差40用

■縦断面図



■横断面図



MEMO

MEMO